

JICA関係者限定資料

ドミニカ共和国

任国情報

1999年

JICA LIBRARY



J1156214(7)

国際協力事業団

国際協力総合研修所

は し が き

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家などのJICA関係者に、赴任国での生活上必要な情報を提供するものです。

本書の刊行にあたっては当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様から多大なご協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関のご好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

今後も本書の内容を一層充実させ、常に新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

なお、本書に記載された内容は、当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様の執筆を中心にまとめたものであり、国際協力事業団の公式見解ではないことを付記いたします。

平成12年3月

国際協力事業団
国際協力総合研修所長

*スペイン語の表記は、アクセント記号などを省略いたしましたので、ご了承ください。



1156214 [7]

目 次

I 概 況	i
II 生活事情	1
1. 食生活	1
2. 衣 料	9
3. 住 宅	13
4. 医 療	17
5. 教 育	22
6. 家庭の使用人	26
7. 交通事情	28
8. 通 信	34
9. マスコミ	37
10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ	40
11. その他のサービス	52
12. 観 光	54
13. 治安、緊急時の心得	62
14. 出入国手続きおよび帰国手続き	65
15. 私財の輸送、引き取り、購入	69
16. 社 交	72
17. 任国官公庁	73
18. 在外日本関係機関など	75
19. 地方都市	75

I 概況

表-1: ドミニカ共和国概況

正式国名	(和文) ドミニカ共和国 (英文) Dominican Republic *注1
独立年月日 旧宗主国	1844年2月27日 *注2 スペイン
政 体	共和制 *注3
元 首	レオネル・フェルナンデス・レイナ (Leonel FERNANDEZ Reyna) 大統領 *注4
位置・面積	北緯17.36~19.56度、西経68.19~72.01度 48.38千km ² *注5
首 都	サントドミンゴ *注4
総人口	8.11百万人 *注5
民 族	白人16%、黒人11%、混血73% *注3
公用語	スペイン語 *注4
宗 教	カトリック90%、プロテスタント2%、イスラム教2% *注2
曆	<日本との時差> -13時間 *注6 祝祭日 (2000年) 1月1日 新年 1月6日 公現祭 1月21日 Feast of Our Lady of Altagracia 1月26日 Duarte's Day 2月27日 独立記念日 4月14日 パンアフリカの日 4月21日 聖金曜日 5月1日 メーデー 7月16日 三位一体修道会設立の日 8月16日 共和国返還記念 9月24日 Feast of Our Lady of Mercedes 10月12日 コロンブスの日 10月24日 国連の日 11月1日 万聖節 12月25日 クリスマス

出所 注1: 『国際協力事業団法令・規程集』

注2: 『世界各国要覧 9訂版』1998 東京書籍

注3: 『ドミニカ共和国概況』1999年12月 外務省

注4: 『世界年鑑』1999 共同通信社

注5: World Development Indicators(WBI)-1998 出典年:1998/統計年:1995

注6: 国際航空運送協会 (IATA) 調べ

1. 国土の概要

カリブ海に浮かぶアンティル諸島、その中で2番目に大きいエスパニョーラ島の東側半分はドミニカ共和国は位置する（西側半分はハイティ）。面積は4万8380km²である。

国土の中央部には中央山脈が北西から南東に走り、その北側には北部山脈、西部中間地帯にネイバ山脈、西南部にバオルコ山脈が平行して走っている。中央山脈と北部山脈との間には、穀倉地帯シオバ平原が広がっている。西南部のバオルコ山脈の間には海抜以下の水面を有する塩水湖エンリキヨ湖を擁するエンリキヨ盆地がある。東部カリブ海側は、サトウキビ園の多い東部平原が広がっている。

(参考文献)

『ドミニカ共和国概況』1999 外務省

『ラテン・アメリカ事典』1996 ラテン・アメリカ協会

2. 気候

熱帯圏にあるため、平地は年間を通し気温が高いが、熱帯性海洋気候と山岳の影響を受け、暑気は若干緩和される。平均気温は26～30℃で、四季の区別は判然としないが、雨期（5～7月、10～12月）と乾期に分けられる。雨期には熱帯性低気圧やハリケーンが来襲することがある。

表一 2：平均気温／降水量

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
気温(℃)	24.5	24.5	25	25.8	26.3	26.9	27.1	27.1	27.1	26.6	26	25.1	26
降水量(mm)	60.1	61.3	55.5	69.7	162	130.9	149	196.4	179	173.7	91.7	76.7	117.2

(参考文献)

『ラテン・アメリカ事典』1989 ラテン・アメリカ協会

3. 人口

1997年時点の総人口は8,107,290人。

主要都市人口は、サントドミンゴ214万人、サンティアゴ36万人、ラロマナ13万人(1993年現在)である。

(参考文献)

World Development Indicators(WB)-1999 出典年：1999/統計年：1997
The Europa World Yearbook 1999 Europa Publications

4. 略史

表-3：ドミニカ共和国略年表

年	出来事
1492年	コロンブスによるエスピノーラ島発見
1844年	ハイティから独立
1930~61年	トルヒーリオによる独裁
1961年	トルヒーリオ暗殺後、政情不安定化
1965年	内乱勃発。米国海兵隊派兵
1966年	バラゲル大統領の下で、政情安定
1978年	グスマン政権成立
1982年	ホルヘ・ブランコ政権成立
1986年8月	バラゲル大統領就任（1990年および1994年再任）
1994年	大統領連続再選禁止。新政権の2年間短縮等からなる憲法改正を行い、バラゲル大統領再任
1996年8月16日	フェルナンデス大統領就任

出所『各国・地域事情と日本との関係』外務省ホームページ

5. 民族

住民は白人16%、黒人11%、混血73%という割合で、混血が圧倒的に多い。こうした人種構成はプエルト・リコやキューバなどの旧スペイン植民地に共通したもので、黒人の比率が高い旧フランス領や旧英国領のカリブ海植民地の人種構成とは好対照をなしている。

(参考文献)

『ラテン・アメリカを知る事典』1990 平凡社
『ドミニカ共和国概況』1999年8月 外務省

6. 言語

公用語はスペイン語である。

(参考文献)

『世界年鑑』1995 共同通信社

7. 宗教

旧スペイン領植民地型の典型としてカトリック教徒が90%を占め、その他に少数のプロテスタント、イスラム教徒がおおよそ2%ずついる。憲法上の規定はないが、国家の重要行事に公式ミサが組み入れられるなど、カトリックは事実上国教に近い扱いを受けている。敬虔なカトリック信者が多く、家族揃って礼拝に出かける。

(参考文献)

『世界各国要覧 9訂版』1998 東京書籍

8. 文化

スペイン文化を土台とし、アフリカの風俗習慣、米国文化など複数の要素が絡んだ多面的な文化を形成している。ドミニカ人は理屈や合理性よりもユーモアと人情味を尊び、陽気で、アミーゴ（友人）を何よりも大切にす。

(参考文献)

『世界各国要覧 9訂版』1998 東京書籍

9. マス・メディア

(1) 新聞

主要日刊紙は『Listin Diario』（8万8050部）、『Ultima Hora』（4万部）で、このほか首都では日刊紙として『El Caribe』（3万2000部）、『Diario Las Americas』（4万部）、『El Nacional』（4万5000部）、『La Noticia, El Sol』がある。また、地方では『El Porvenir, La Informacion』（1万5000部）がある。

(参考文献)

The Europa World Yearbook 1999 Europa Publications

(2) 放送

1995年現在、国内で約138万人のラジオ受信者、約72万8000人のテレビ受信者がいる。1994年現在、ラジオ局は国営のRadio Television Dominicanaが10局開設してい

る他、民放局が100局以上ある。

テレビ局は国営局と民放局合わせて7局あり、またケーブルテレビは29の事業者がサービスを行っている。

(参考文献)

The Europa World Yearbook 1999 Europa Publications
『データブック 世界の放送』1999 NHK出版

10. わが国との関係

(1) 日本との外交関係概要

1956年から3年間日本人が移住したが、帰国者、転住者が多かったようである。現在両国関係は経済を中心に進展しており、企業なども進出している。在留邦人は636人(1997年10月現在)である。

(参考文献)

『世界各国要覧 9訂版』1998 東京書籍

(2) 要人往訪

- 1986年 稲葉修特派大使(大統領就任式)
中米・カリブ投資環境調査ミッション
- 1987年 倉成正外務大臣
- 1989年 田中直紀外務政務次官
- 1990年 中山正暉衆議院議員
石井一二外務政務次官(特派大使、大統領就任式)
- 1996年 林義郎衆議院議員(特派大使、大統領就任式)
- 1997年 高村正彦外務政務次官

(3) 要人来訪

- 1985年 ココ蔵相
クルス・ドミンゲス農務相
- 1988年 エレーラ外務次官
エマン・サデ外務次官

- 1989年 モラレス副大統領（大喪の礼）
 1990年 アルマンサル文相
 モラレス副大統領（即位の礼）
 1991年 バンデルホルスト観光相、トラル中銀総裁
 ロドリゲス外務次官
 1993年 タベラス観光相
 1994年 サン・ベン技術相、エリアス観光相
 1997年 ケ・レロ農地庁長官

出所『各国・地域事情と日本との関係』外務省ホームページ

表一４：経済指標 [ドミニカ共和国] 統計年：1997年

GDP (百万USドル)	*注1	15039
1人当たりGNP (USドル)	*注1	1750
実質GDP成長率 (%) (1990～1997年平均)	*注1	5.1
消費者物価上昇率 (%) (1990～1997年平均)	*注1	10.3
失業率 (%)	*注1	15.9
貿易収支 (百万USドル)	*注1	-1995.0
輸出額(fob)		4613.7
輸入額(fob)	*注2	6608.7
主要輸出入相手国 (1998年)	*注3	輸出：米国 (43.9%) 輸入：米国 (48.6%)
経常収支 (百万USドル)	*注2	-163.0
対外債務残高 (百万USドル)	*注4	4239
対外債務返済比率 (%)	*注4	6.2
外貨準備高 (百万USドル)	*注1	391
為替レート (1998年末)	*注2	1USドル=15.788ディルハム
会計年度		1月1日～12月31日

出所 注1：World Development Indicators 1999 The World Bank
 注2：International Financial Statistics Yearbook 1999 IMF
 注3：Country Report：4th quarter Dominican Republic 1999 EIU
 注4：Global Development Finance 1999 1999 The World Bank

Ⅱ 生活事情

1. 食生活

1-1 食料

(1) 一般事情

近海によい漁場が少ないことや、流通システムが未整備なため、魚介類は量、種類ともに少ないが、野菜、肉、卵などの生鮮食料品は輸入品も含めてスーパーにはかなり出回っている。瓶・缶詰などの加工食品も豊富で、大半が外国製品である。

日本食品は一部の店で限定的ではあるが入手可能であり、日本人移住者からも豆腐などが入手できるため、工夫すれば日常的な和食を楽しむことは可能である。

冷凍食品はコールド・チェーン・システムが整っていないこと、停電が日常化していることにより、一部解凍と冷凍を繰り返している可能性もあるので、鮮度には十分に注意を払う必要がある。また、卵も生では食さないほうがよい。

大手スーパーは日本と変わらない清潔さであり、惣菜なども販売している。

(2) 主な食料の出回り状況

<主食>

米は粘り気のない長粒米が主流であるが、特定の店ではカリフォルニア米も入手可能である。また、日本人移住者により日本米もつくられている。もち米、小豆、大豆、おからも販売されている。他にプラタノ（食用バナナ）、タロイモが当地の主食であり安価である。パンは食パンがスーパーで入手できるほか、専門店ではフランスパン、クロワッサンなども売られている。

<肉類>

当国でよく食される鶏、牛をはじめ、豚、山羊、兎などの肉、ソーセージが入手できる。高級専門店もある。

<野菜>

輸入物も含めて、ホウレンソウ、カボチャ、キュウリ、ニンジン、ピーマン、ブロッコリー、レタス、キャベツ、ナス、トマト、ネギ、インゲン、アスパラガス、ジャガイモ、タマネギ、ニンニクなどがスーパーで入手できる。日本・韓国・中国系移住者が白菜、ダイコン、モヤシ、長ネギ、ワケギ、ニラ、チンゲン菜を生産しており、季節に応じて出回る。

<果物>

スイカ、メロン、オレンジ、グレープフルーツ、パイナップル、マンゴー、パパ

イア、リンゴ、イチゴ、ブドウ、そのほか亜熱帯特産の果物が季節に応じて豊富に出回る。

<乳製品>

牛乳をはじめバター、チーズ、ヨーグルト、アイスクリームなど、ほとんどの製品がある。特にチーズは種類が豊富である。

<魚類>

出回っている種類は少なく肉類に比べて高い。タイ、サケの切り身、イカ、タコ、エビ（むき身もある）、ロブスター、ムール貝などのほか、輸入サーモンや干し魚などがスーパーで入手可能である。ただし、鮮度には注意すること。

<調味料など>

各種調味料が容易に入手できる。食用油としてコーン油、オリーブ油、ひまわり油がある。

<嗜好品>

コーヒーが特産である。紅茶、ハーブ茶はスーパーで入手できる。中国製緑茶、ウーロン茶、ジャスミン茶などもあるが、日本茶はない。

<酒類>

地ビールをはじめ、ウイスキー、ワインなど外国製品が豊富に販売されている。特にワインは高価な物から安価な物まで豊富である。国産のロン（ラム酒）は安価である。日本酒も大衆銘柄であればスーパーマーケットや中国人経営の店にある。

<飲料水>

水道水はそのままでは飲料に適さないため、スーパーにてミネラルウォーター（輸入品、当国の銘柄品）を購入したり、家庭で5ガロン入りプラスチック容器Botellonを2～3本備え、ミニスーパーColmadoから配達してもらっている（15～17ペソ）。

(3) 食料の入手

大手スーパーは平日朝8：00から22：00まで営業している。1週間分の食料をまとめて購入する人が多い。ミニスーパーでは食料品から雑貨まで販売しており、卵は1個から販売している。市場もあり、ガソリンスタンドのフードショップも役立つ。

<主なスーパー>

Nacional

所在地：27 de febrero

備考：店の並びに家庭用品店、本屋、文房具店などもある

Lope de Vega

備考：店はゆったりしていて種類も豊富である。他にMaximo Gomez店、Nunez de Casares店、Duarte店がある

Pola

備考：Aburaham Lincoln店、Sarasota店、Lope de Vega店がある

Asturias

所在地：27 de febrero

備考：日本語学校の近く。2階は家庭雑貨、3階は装飾用品売り場になっている。ほかにNaco店がある

LasEstrellas

所在地：Ave. Romulo Betancourt 291

備考：春雨などの乾物、日本製インスタントラーメンがある

Bravo

備考：Ave. Winston Churchil

<肉>

Gourmet

所在地：Victor Garrido Puello 137

電話：567-8729

備考：高級食料品店。骨なし鶏肉入手可

Nello's

所在地：Dr. Luis F. Thomen 165

電話：565-7217

備考：豚肉の各部位の入手可

<野菜>

Hortalisa

所在地：Ave. Winston Churchil

備考：ケンタッキーフライドチキン隣。計り売りで少量の購入も可。新鮮である

Seoul Restaurante

所在地：Ramon Franco Vido 44

電話：532-7854

備考：毎週水曜午後に入荷。キムチがある

<パン、ケーキ>

France Croissant

Sarasota店

所在地：Ave. Sarasota Esq. Fernando Defillo

電話：532-7082

Naco店

所在地：Padre Fantino Falco

備考：さまざまな種類のパン、プリン

Croissant Dole

所在地：Ave. Enriqillo

Alfa Panaderia Reposteria

所在地：Ave. Lincoln

電話：533-1319

La Baguette

所在地：Ave. Gustavo M. Ricart

電話：565-6432

備考：注文ケーキも可能

Panavi

所在地：Ave. Gustavo M. Ricart, Plaza Cataluna内

電話：472-3535

備考：ケーキ

日本食品専門店はないが、環球農産有限公司などにて入手可能である。この店で取り扱っているものは、1999年8月現在次のとおりである。品物や価格は輸入状況によって変わる。価格は日本の1.5～3倍程度である。

<米>

カリフォルニア米、ドミニカ産日本米、もち米

<めん類>

真空パックうどん(20ペソ)、そば、そうめん(25ペソ)、日本製ひやむぎ(9ペソ)、韓国製インスタントラーメン、中国製生ラーメン(20ペソ)

<調味料>

日本製および米国製醤油(1ℓ139ペソ)、白味噌(135ペソ)、ゴマ油、米国製ミリン(110ペソ)、チューブ入りワサビ、七味ガラシ、和ガラシ、本だし(85ペソ)

ソ)、そばつゆ(6.5ペソ)、すし酢(69ペソ)、ミツカン酢(79ペソ)、蒲焼きのたれ(65ペソ)、焼き肉のたれ、すしの粉、固形インスタントカレー(78ペソ)、和風ドレッシング(75ペソ)、とんかつソース(110ペソ)、昆布(25ペソ)、海苔、味付海苔(99ペソ)、手巻き海苔(50~165ペソ)、ごはんですよ(95ペソ)

<乾物類>

たくあん(118ペソ)、ラッキョウ漬(55ペソ)、ふりかけ(85ペソ)、干し椎茸(125ペソ)、カンピョウ(75ペソ)、缶詰の竹の子など、他に乾燥レンコン、カー、コアラのマーチ、海苔巻煎餅、ゴマ煎餅(68ペソ)、あられ(35ペソ)、柿の種(45ペソ)など。

<その他>

月桂冠(1升550ペソ)、梅酒(280ペソ)、冷凍餃子、冷凍肉まん、冷凍ちくわ(89ペソ)、豆乳、竹の子、パック豆腐、ダイコン、モヤシ

その他、日本人移住者(日本語学校学生寮 電話:565-8630、笠原氏 電話:562-3845)が、豆腐、納豆、がんもどき、油揚、さつま揚などを販売している。

中華食品と若干の日本食材などを入手できる店は次のとおりである。

環球農産有限公司 (Produccion Agricola Universal, S.A.)

所在地: Ave. 27 de Febrero 513

電話: 530-6302

中國雜貨行 (Casa China)

所在地: Ave. Maximo Gomez 29

電話: 686-2615

備考: 干し椎茸、海苔、米、食器など入手可能

華興貿易公司 (Wah Hing Trading)

所在地: Calle Benito Gonzalez No. 71, Villa Francisca

電話: 686-3329

Gourmet Demetrio

所在地: Calle Victor Garrido Puello 137, Evaristo Morales

電話: 563-8729、563-8777

Alimento de Coreanos

所在地: Calle Franco Vido 44

電話: 532-7854

Pescaderia Imperial Azua

備考：オーナーのジン氏が不定期に日本語学校に鮮魚を売りにくる

Pescaderia Jengo

所在地：Real No.21 Villa Duarte

電話：597-0471

備考：新鮮な魚がある

以上のように、ある程度の日本食品が入手できるが、品切れがあること、種類、品質が限定されること、価格が物によっては2～3倍することなどから当座の分は持参したほうがよい。持参したほうがよい食品は、カツオブシ、梅干、ワサビ、七味トウガラシ、和ガラシ、昆布、わかめ、煮干し、ひじき、佃煮、漬物、緑茶などである。

1-2 食器、調理器具など

(1) 食器、調理器具などの入手

ヨーロッパ、米国、中南米などから輸入されたガラス食器、銀食器が豊富である。和食器にこだわらなければ持参しなくても困ることはない。

中国人経営の店 (Ave. Duarte) では中国製の茶碗、土鍋、蒸籠なども入手できるが品質は劣る。食器類の良質な物は日本と同様に高価である。

ラップ、ホイル類、割り箸も入手できる。ジューサー、電子レンジ、トースターなども各種ある。

Cuesta Centro del Hogar

Plaza Central店、Plaza Naco店、Ave. 27 de Febrero店、Centro Comercial Naco店

Ferreteria HACHE

所在地：Ave. Kennedy

備考：幅広い品揃えで売り場が広い

Departamento Ferreteria AMERICANA

所在地：Ave. Kennedy

備考：高級食器から日用雑貨まで広い品揃え

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

包丁類（和包丁など）、まな板（プラスチック製、西洋まな板は入手可能）、へら、漬物器、すし桶、急須、湯のみ茶碗、茶托、おしぼり托、茶碗（代用品あり）、和皿（調味料皿、受け皿、代用品はある）、お椀、箸（中国箸はある）、菜箸、箸置き、醤油差し（代用品あり）、布巾、氷かき、たこ焼き器などである。

炊飯器は古いタイプの単純な物なら入手可能であるが、性能のよい物は持参する必

要がある。湯沸かしポットなども入手可能だが、使い勝手は多少劣る。ただし、電気事情がよくないため、持参する場合も高性能な物ではなく単純な機能の品が壊れにくいようである。100v仕様の日本製品はトランスがなくても機能するが、ステップダウントランスの使用が望ましい。消費電力が大きいため器具によっては大容量のトランスが必要である。

1-3 外食

(1) 飲食店

フランス料理店、イタリア料理店、スペイン料理店、中華料理店、ステーキハウスなどが多数あり、海鮮料理も食べられる。ハンバーガーやピザなど、日本でも馴染みのファーストフード店、総菜店、弁当屋などが増えているが、まだ自宅で食事するのが基本であり、外食となればきちんとしたレストランに行くのが一般的である。よって手頃な料金で楽しめる店はまだ少ない。ハンバーガーなどは日本より高く、レストランの値段は日本並の値段である。8%の従価税 (ITBI) と10%のサービス料が別に請求される。さらにチップを置く人も多い。置く場合は代金の5~10%程度でよい。邦人が利用する主な店は次のとおりである。

Lina

所在地：Hotel Lina内

電話：563-5000

Vesuvio I

所在地：Ave. George Washington 521

電話：221-1954

Vesuvio II

所在地：Ave. Tiradentes 17

電話：562-6060

Meson de la Cava

所在地：Ave. Mirador del Sur

電話：533-2818

Cantabrico

所在地：Ave. Independencia 54

電話：687-5101

La Briciola

所在地：Arzobispo Merino 152-A

電話：688-5055

Mezquita

所在地：Ave. Independencia 407

電話：687-7090

Black Angus

所在地：Ave. 27 de Febrero 232-A

電話：688-2261

Reina de Espana

所在地：Calle Cervantes 103

電話：685-2588

Rio Mino

所在地：Jardines del Embajador

電話：534-5927

Piccolo Gourmet

所在地：Ave. Abraham Lincoln 605

電話：566-6340

Framboyan

所在地：Socorro Sanchez Casi Esq. George Washington Conuco Casimiro de Moya 152

電話：686-0129

備考：ドミニカ料理

<中華・韓国料理>

中國海鮮樓 (Chino de Mariscos)

所在地：Ave. Sarasota 38-a

電話：533-5249

翠園 (Suiuen)

所在地：Hotel El Embajador内

電話：533-2131

李園 (Lee's Kitchen)

所在地：Ave. Gustavo Mejia Ricart

電話：544-1862

韓国焼肉 (A ri rang)

所在地：Ave. 27 de Febrero

電話：565-5611

<日本料理>

Samurai

所在地：Ave. Abraham Lincoln 902

電話：565-1621

備考：テイクアウト可

国松食堂

所在地：Calle Orlando Martinez 3

電話：563-2845

備考：予約制の定食がある。会食や出前も可能

Dragon House

所在地：Ave. Duarte

Crazy Fish (寿司バー)

所在地：Ave. Roberto Pastoriza

(2) その他の飲食店

ピアノバー、ディスコ、ナイトクラブなどが多数あり、主なホテルにも併設されている。

2. 衣料

2-1 衣料

(1) 一般事情

亜熱帯地域に属する当地は、年間を通じて最高気温30℃前後、最低気温23℃前後である。5～10月は雨量が多く、短時間に集中的に降ることが多い。また、一日の寒暖の差は月気温の較差と同様で、気温が最も低い朝はさわやかである（ウォーキングをする人も多い）。一方、高原のコンスタンサでは月最低気温が10℃以下に下がることもある。

当地の人はGパンに長袖が一般的で、暑くても短パンなどのカジュアルな服装はしない。観劇などではドレスアップしている人を見かけることが多く、公式行事ではきちんとスーツを着る。

衣料品の品質や価格はさまざまである。日本、米国、英国、スペイン、中国、香港、台湾、韓国、ブラジル、メキシコ、ヴェネズエラ製もあり、日常の衣料には困ら

ない。また、Faconable、Nautica、Guess、Liz Claiborne、Benetton、Palph Lauren、Jacadi、Tommy Hilfiger、Lacoste、Levis、Culvan Klein、Flomarなどの専門店がある。

おおむね日本より高価であるが、バーゲンやディスカウントショップもある。冬物は少ない。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

基本的には夏物を中心に用意すればよいが、レストラン、映画館、長距離バスはクーラーが強く、カーディガンやジャケットなども持参する必要がある。夜間はセーターや暖房が必要になることもある。また、旅行用に保温性のよい物を若干持参するとよい。

男性は、各種ワイシャツ、(麻混紡ワイシャツ、半袖など入手可能)、Tシャツ(入手可能)、ランニングシャツ(当地製は前後同型)、クレープの半袖、トランクス(パンツ)、背広(ダークスーツ、平服各1)、ジャンパー、カーディガン、好みにより綿の靴下、甚兵衛、浴衣、ステテコなどがあげられる。

女性は必要に応じて訪問着、セミフォーマルドレス(入手可能)、ドレスに合うアクセサリー類、Tシャツ、各種下着類、水着(当地製は胸当てがない)、パンプス(入手可能)、サンダル(入手可能)などである。

子供・乳幼児用品はできるだけ持参したほうがよい。良質の製品は輸入品であるため日本より高価である。

その他、ガーゼハンカチ、日本手拭い、ナイロン製タオル、スポーツシャツ(入手可能)、室内ばき(入手可能)、スポーツシューズ(入手可能)なども持参したほうがよい。軍手も重宝する。日傘はない。

(3) 任国で調達したほうがよい衣料

ふだん着、作業着、帽子(つばの広い帽子は少ない)、靴、ブリーフがある。

(4) その他の留意点

当地の男性は仕事やパーティーなどにはグァジャベラ(Guayabera)、あるいはチャカバーナ(Chacabana)といわれるシャツを着用する。外国人が着用しても支障ない。

2-2 礼装

(1) パーティー

ミッションなどのレセプションや返礼パーティーなどの公的なものと、私的なカクテルパーティーやディナーパーティーがある。

男性には、招待状にダークスーツ (Traje Oscuro)、平服 (Traje de Calle)、簡易正装 (Guayabera、Traje formal)、軽装 (Informal) の区分がある。

Traje Oscuroはかなりフォーマルな場合である。同伴者はこれに合わせてカクテルドレスにしたりする。

Traje de Calleの場合はダークスーツやあまりフォーマルでない服装でもよい。Guayaberaは長袖が正装であるが、ほとんど半袖を着用している。

Traje formalではワイシャツ、ネクタイ着用のダーク、チャコールグレーなどスーツが適当である。女性は比較的ドレッシーなワンピース、スーツや訪問着程度でよい。

(2) 式典

大使公邸における新年祝賀会や天皇誕生日の祝賀会 (ともに昼間) のほか、配属機関における式典があり、招待される機会が多い。

(3) 冠婚葬祭

総じて冠婚葬祭では日本と同様、黒系統を着用する。

結婚式の場合、スタイルや色に特に決まりはないが黒がエレガントで適当である。

葬儀では明るい色を避け、女性は黒のスカート、白いブラウスにネックレス (パールなど) のスタイルが多い。男性は冠婚葬祭用ネクタイを持参すると便利である。

女性は肌を見せない、あまり華美でない長袖を着るのが慣習である。いずれも夏物で十分間に合う。

(4) その他の留意点

当地の人は既して着道楽なところがあり、国立劇場 (Teatro Nacional) の夜のオペラやコンサートなどでは男性はジャケット、ネクタイ、長袖シャツ、女性はカクテルドレスなどで着飾っている。

日系人社会では日本の慣習がそのまま残っているため、祝儀、不祝儀袋を持参したほうがよい。

日本語学校が中心になって日本の伝統行事を行っている。盆踊り大会などもあるため浴衣、下駄などを持参すれば楽しめる。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

洗濯機は米国、韓国、ブラジル製品が主で、わずかに日本メーカーの製品も販売されている。高価ではあるが、日本からの輸送費、引き取り手続きなどを考慮すれば当地で購入することをすすめる。また、ほとんどのアパートには備え付けてある。

建物によっては水質が悪いため、洗濯を繰り返すうちに色が悪くなることもある。
クリーニング店のLavanderiasが多数あり、ドライクリーニング、じゅうたんのク
リーニングも行う。ホテルでも宿泊者以外のランドリーサービスを受け付けていると
ころがあり、利用できる。自宅、事務所に集配に来る業者も多数ある。

Hotel Plaza Naco

所在地：Presidente Gonzalez Esq. Tiradentes 3

Lava Seco

所在地：Ave. Lope de Vega No.39

電 話：562-4383

所在地：Ave. Independencia 208

電 話：532-6955

所在地：Ave. Winston Churchill

電 話：567-9433

Dryclean USA

所在地：Ave. R. Berancourt1400

電 話：532-1561

所在地：Ave. Mejia Ricart

電 話：544-0434

備 考：洋服の寸法直しも可能。Ave. Mejia Ricart店では靴の修理も行う。

Lavanderia Tiradentes

所在地：Ave. Tiradentes 10

電 話：540-4367

Lavado Express

所在地：Romulo Betancourt 221

電 話：534-7622

このほか米国式のコインランドリーもいくつかある。

(2) 仕立て、修繕

生地を購入して仕立ててもらう。店によって技術に格差があるため、よい店を選
択することが肝要である。仕立て代は日本に比べればかなり安い。

(3) 保管

特に湿気対策に留意すること。クローゼットや洋服ダンスはときおり風を通すな
どの工夫を要する。除湿剤は入手可能である。

3. 住宅

3-1 一般事情

近年の建設ラッシュによる新規物件は分譲用が多い。交渉次第で借り受けることも可能ではあるが、売却を目的としているため家具はついていないことが多い。また、家賃は値上がり傾向にあつて、住宅手当限度額内で条件を十分に満たす物件は必ずしも多くはない。物件が見つかるまでは1～2カ月を要する。

新市街のほうが旧市街に比べて治安、環境ともによい。JICA関係者が住んでいるのはサントドミンゴ市内を東西に走るAve. Kennedy以南である。治安は比較的よい地域であるが、空き巣、強盗に入られる可能性もあり、実際、被害も生じている。そのため、防犯が困難な一戸建てよりはアパートをすすめる。1999年8月現在、一戸建てに住むJICA関係者はいない。

警備、防犯設備などの安全対策には通常以上に留意している。

下宿（間借り）は食事付きでなければ容易に見つかる。この場合、アパートの1部屋だけを貸すことが多く、炊事場、トイレ、シャワーは共用が多い。日系人の経営する食事付きの下宿もあるが、部屋数は少ない。

家賃は、スペースよりも家具の質や数量によってかなり異なる。1999年8月現在、居間、食堂、台所、洗濯場、使用人部屋各1、バス2、寝室3程度の家具付きでは1100～1800ドル、1寝室、トイレ・シャワーをホスト家族と共同、食事なしで2000ペソ程度が相場である。

3-2 ホテル事情

いずれのホテルも赴任当初の利用が可能であり、アパートメントホテルは長期利用も可能である。

邦人が利用する主なホテルは次のとおりである。

Lina

所在地：Ave. Maximo Gomez Esq. 27 de Febrero

電話：563-5000

料金：74ドル

Santo Domingo

所在地：Ave. Independencia Esq. Abraham Lincoln

電話：221-1511

料金：123ドル

Hispaniola

所在地：Ave. Independencia Esq. Abraham Lincoln

電話：221-1511

料金：61.5ドル

Embajador

所在地：Ave. Sarasota Casi Esq. Ave. Winston Churchill

電話：221-2131

料金：61.5ドル

<アパートメントホテル>

Delta

所在地：Ave. Sarasota

電話：535-0800

料金：57ドル

Hotel Naco

所在地：Ave. Tiradentes 22

電話：562-3100

料金：56ドル

Plaza Florida

所在地：Ave. Bolivar 203

電話：541-3957

料金：42ドル

3-3 住宅の探し方

新聞広告で適当な物件を選び、電話連絡してから下見するのが一般的である。仲介業者もあり、契約成立時には貸主あるいは借主から手数料を取る。貸主のみが手数料を払うことも多く、事前に条件を確認したほうがよい。

3-4 住宅の選定上の留意点

安全、停電対策設備、給水設備などがポイントである。独立家屋の場合、塀、窓に鉄格子があることが絶対条件である。アパートの場合、建物玄関の出入り口にガードマンがいるか、または施錠されていなければならない。事務所では安全対策クラークによる事前の防犯チェックをしてから契約するよう指導している。

改善されつつはあるが、常時電力は不足している。首都でも4～5時間連続停電することが少なくない。地方によってはさらに悪い場合もある。したがって、建物全戸

にいきわたる容量の共用発電機を備えたアパートが望ましい。各自で発電機を備えるのは維持管理が容易ではなく、すすめられない。インベルソールと呼ばれる無停電装置（＝多数のバッテリー＋交流変換装置）による方法もある。若干高価ではあるが便利である。バッテリーはメンテナンスを要し、寿命は約2年である。停電が恒常的な地区があるので、居住者または近隣に停電の頻度と対策設備の有無、稼働状況などを必ず確認すること。たとえ発電機を備えていても、運転制限しているところもあるので注意が必要である。

停電の際は揚水ポンプも止まるため、非常用発電機によるポンプ運転、あるいは屋上貯水タンクがないと水に不自由することになる。また、省エネのため夜間は揚水ポンプを止め、給水を停止するアパートもあるので注意を要する。水道は元々給水圧が低いうえ、渇水期には元栓を締めて水量を調整するので、末端に行くほど水の出が悪くなることも考慮に入れること。また、一戸建てほど水の出が悪いところが多い。

風向きは季節または日中・夜間によって異なるが、おおむね1年を通して南北方向に吹くため、窓が南北面についている部屋を選ぶとよい。

ハリケーンが通ることがあるので、屋根はすべてコンクリートの陸屋根（平構造）である。したがって、最上階の部屋は昼夜間とも蓄熱のため暑いので、極力避けたほうがよい。非常階段が設置されていない建物では、火災発生を想定して階下が望ましい。

一方、4階ぐらいまでは網戸がないため、年中蚊に悩まされる。

クーラーはほとんどが窓枠取付（室外機一体型）で、稼働時の騒音が大きい。窓の対面に隣人のクーラーがついているところは極力避けること。

家具付き物件の場合、家具の自然劣化、故障、使用不能などに対する責任は家主にある旨を契約時に明確にする必要がある。電化製品、家具などが老朽化した家は、あとでトラブルが発生しやすいので注意すること。

駐車場の有無も確認すること。屋根付ガレージであれば車の傷みは少ない。

電話も安全対策上必須である。新規敷設には日時を要するので、すでに使用可能（家主名義のまま使用）なところを選ぶこと。

サント・ドミンゴ自治大学周辺では、学生が紛争を起こす際に使用する催涙ガスが、風に乗って流入してくることがあるので注意すること。

3-5 住宅の契約

通常、契約は1年間である。その後は両者に異存がなければ自動更新されるのが普

通である。契約書は市販の物を使用するか、家主側が用意する。必要に応じて双方合意のもとに条件を修正する。特に契約期間中（1年以内）に解約すると残りの期間の家賃を支払わなければならないことが多いので、転勤などの際は1カ月前に通告することにより解約できるよう、あらかじめ追加条項を設けておく必要がある。なお、契約の締結に際してはJICA事務所も便宜を図っているので相談するとよい。

通常、契約には第三者の保証人が求められるが、契約当事者である両者のサインだけでよいとする家主もいる。極端に厳重な契約を要求する家主は、解約時にトラブルが起きる可能性が高いため避けたほうがよい。

通常、家賃は1～2カ月前払いである。入居時の敷金は通常1カ月分を要求される。敷金は解約時に戻されるが、家具を破損したり、壁を汚した場合は敷金から差し引かれる。ときに礼金を要求される場合もある。これらの条件は交渉時に十分確認することが必要である。

3-6 電気、ガス、水道などの手続きと管理

アパートでは水、ガス、ゴミは集中管理方式であり、家賃とは別に共益費を支払うケースが多い。

水道、電話、ケーブルテレビなどは名義変更が必要か否かを確認のうえ、契約すること。できれば家主名義のまま借り受けるのが望ましく、家主が執拗に名義変更を迫る場合は慎重に考慮するべきである。

電気も家主名義のままが望ましいが、新規契約が必要な場合は電力公社（CDE）と契約し、メーターを取り付けてもらう。敷金を請求されるが、この額は家電製品の数量によって異なる。料金の支払いは1カ月後で、使用量を明記した請求書が自宅に届けられる。2カ月ほど滞納するとメーターを外されるので注意すること。

停電後に再び通電するときは高電圧（サージ）のため電球が切れやすい。これには電球ソケット取り付け型の蛍光管にするなどの対策が有効である。若干高価（150～300ペソ）ではあるが明るく、消費電力も少ない。容易に入手できる。

ボンベ（シリンダー）式のガスの場合、まずボンベを入手する必要がある。空になったら業者に連絡してボンベを持ち帰ってもらい、充填してから配達してもらう。信頼できる業者を家主に紹介してもらうのがよい。ガスホース、締め付け金具、接続などには十分注意し、古いホース、金具は新しい物に交換すること。

3-7 その他

一般に火災、盗難などの保険は家主および借り主とも加入していない。万一の場合の責任について、契約時に家主と相談のうえ明確にしておく必要がある。

ランプや懐中電灯は、到着後速やかに準備すること。

掃除機などは当地で購入できるので持参する必要はないが、当地の住宅は床がタイル材なので、ブラシで掃いてモップがけするのが通常である。

4. 医療

以下の記述は、執筆者が現地滞在経験に基づきまとめた一般参考情報で、必ずしも医療専門家の校閲を受けたものではありません。したがって、詳細（特に緊急時の対応や予防薬の服用方法など）については、事前に医療関係者から専門的アドバイスを受けるようにしてください。

4-1 赴任前の準備

(1) 予防接種

入国に際して義務づけられている予防接種はない。狂犬病、破傷風、A・B型肝炎の接種は必要に応じて受けるとよい。

当国で予防接種を受ける場合は、保健所や私立病院で接種するのが普通である。特に犬にかまれたときはただちに狂犬病、破傷風のワクチンを接種すること。

狂犬病、A・B型肝炎やチフスなどは、発生に応じてその地域の住民に接種を実施している。

(2) その他の準備

眼鏡（コンタクトレンズを含む）店は多くあり、価格は日本と大差ない。日本、ドイツ、イタリア製などの質のよい物も入手できる。はじめての客には必ず検眼を要求するので、不安やわずらわしさを覚える向きは予備を携行すること。

歯科治療は可能であるが、特に地方に配属される人は日本で完治させたほうがよい。

4-2 医療事情

(1) 医療機関

当国には国立病院、社会保険病院、運営委員会経営病院、私立総合病院などがある。

<国立病院>

保健省の管轄である。各地域（主に県庁所在地）にHospital Regional（専門科付属）があり、その下部組織としてSub Centro de Salud（入院可）、その下に農村地区のClinica Rural（診療のみ）がある。いずれも診療、手術、入院は無料が原則

であるが、手術、入院の際に病院にない物が必要な場合、患者が購入することがある。

<社会保険病院>

保健省が組織し、給与月額2633ペソ以下の従業員はすべて加入しなければならない。雇用主と従業員の負担金の割合はそれぞれ月額の70.5%と20.5%である。

<運営委員会が経営する病院>

一部国の補助を受け、寄付金により経営している。料金は実費のみとなっているが、実際は私立並みである。

<私立総合病院 (Centro Medico) >

各専門分野の医師が1カ所に集中したもので、初診には予約が必要である。

<グループ診療所>

私立病院の小規模なものである。

<その他>

小児科、産婦人科、耳鼻科、皮膚科、循環器科、眼科、歯科など私立の専門病院がある。

邦人を含む外国人の多くは、私立の病院や個人の診療所で診察を受けている。すべての科がある。歯科はほとんどが個人で開業していて、事前に予約をしたほうがよい。

入院費は個室の一日の料金である。

<総合病院>

Clinica Abreu

所在地：Calle Beller Esq. Ave. Independencia 42

電話：688-4411

備考：Dr. Alfonso Brossa (JICA顧問医)。全科目診療。入院可800~1000ペソ

Centro Medico UCE

所在地：Calle Pedro Henriquez Urena 42

電話：221-0171 (緊急時688-9511)

備考：全科目診療。入院可1100ペソ。24時間体制

<クリニック・開業医>

Centro de Pediatria y Especialidades (小児科)

所在地：Ave. Independencia 504

電話：685-1111

備考：入院可800～1000ペソ

Clinica Dental Dr. Yamashita (歯科)

所在地：Ave. Independencia 362 (自宅兼診療所)

電話：689-2605

備考：要予約。日本語可

Centro de Obstericia y Ginecologia (産婦人科)

所在地：Ave. Independencia 451

電話：221-7100

Dr. Fernando Escovar Pardo (産婦人科・外科)

所在地：Calle Roberto Pastoriza 88 (自宅兼診療所)

電話：565-4688

Dr. Luis Sanchez Limardo (胃腸科)

所在地：Ave. Independencia 139

備考：JICA研修参加経験あり

(2) 緊急時の対応と措置

ダイヤル911が消防、警察、赤十字救急車の呼び出し番号である。できればJICA顧問医の診察を受け、専門病院の紹介を依頼するのがよい。

他に686-4288も救急車呼び出し電話番号であるが、つながらないことも多い。目的地に到着してから救急車の運転手に料金を支払うのが一般的である。

民間救急車サービスは電話番号532-8221、546-4060、530-8221であるが割高であり、無線タクシーを頼んだほうが早くて安い。

各総合病院には救急車が配置されているが、到着時間があてにならないことから、自家用車、無線タクシーを利用するのが一般的である。旅行中の場合は、最寄りの中都市、または首都の病院で診察を受けることが望ましい。

異物を飲み込んだ子供を対象とした中毒センターがある。

赤十字病院 (Cruz Roja)電話：911

中毒センター (Centro de Intoxicaciones)電話：532-6511

4-3 医薬品など

(1) 携行することが望ましい医薬品

家庭常備薬と防虫スプレー、キンカン、ムヒは持参したほうがよい。特に赴任当初は蚊に刺されることが多い。ゴミ処理や排水施設に問題があるため蚊は多い。

持病がある人は、当地の薬に切り替えるまでの当座の治療薬を携行すること。

(2) 任国で調達できる医薬品

医薬品は米国、ドイツ、スペイン、メキシコなどから多数輸入されている。薬局にもよるが、ほとんどの物が揃っている。

(3) 任国で調達できる衛生用品

生理用品はスーパー、薬局で購入できる。包帯、ガーゼも薬局で購入できる。避妊具はピルやコンドームが普及している。

(4) 医薬品を使用する場合の留意点

完全な医薬分業制をとっているが、抗生物質を含み処方せんなしでクレジットカードでも購入できる。薬局はスーパー内など至るところにあり、多くが深夜まで営業していて自宅まで配達もしてくれる。

24時間営業で配達も可能な薬局は次のとおりである。

Farmacia San Judas Tadeo

所在地：Ave. Independencia No.57

電話：689-6664、689-2851、686-3289、685-8165

Farmacia Los Hidalgos

所在地：Ave. 27 de Febrero 241

電話：541-4848

Farmacia Coral

所在地：Gustavo Mejia Ricart No.24

電話：562-6767、562-6757、540-2024

注射は病院のほか一部の薬局でも可能である。できれば医者処方せんで購入するか、具体的に薬品名か成分をいって購入するのが望ましい。

4-4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

妊娠時から専門医が担当し、分娩まで定期的に診察する。私立病院に入院した場合は完全看護である。異常分娩、早産、早産、流産などへの対応も可能である。

(2) 出産後の対応

母子検診制度があり、新生児に対するポリオ、百日咳、ジフテリア、破傷風の予防接種は2歳までに強制的に実施される。

(3) 育児

乳幼児用品は外国製品が揃っているが高価である。

4-5 手術

(1) 任国で可能な手術

医師の多くは米国、欧州に留学経験があり、すべての手術に対応可能である。しかし、ドミニカ人でも米国で手術を受ける人もおり、水準は高いとはいいがたい。

(2) 手術設備の状況

国立病院は医療機器や手術設備が不十分である。できるだけ設備の調った私立病院を選ぶべきである。

(3) その他の留意点

国立、私立を問わず、個室であれば付き添い人の宿泊は可能である。病院食はドミニカ料理であり、邦人は家から持ち込むことが多い。

血液銀行があり、輸血用血液の入手は十分可能である。しかしながら、停電が多いことなどから保存状態に不安がある。可能な限り、知人から供血してもらうことを強くすすめる。

4-6 任国でよくかかる傷病

(1) 一般の疾病

最も多いのはカゼである。外は暑く、室内は冷房を効かせるためか、年中咳をしている人がよく見られる。ウイルス性のカゼは、発熱をともないリンパ腺が腫れることがある（1999年8月現在、コンボという俗称のカゼが流行している）。

消化器系統、寄生虫による病気も多い。特に、子供には下痢が多いので注意を要する。

(2) 風土病、伝染病

結核がある。特に注意しなければならないのはHIV感染である。

ときおり発生するものに、マラリア、はしか、ハンセン病、デング熱などがあるが、特に心配するほどのものではない。

(3) 有害動物、病害虫

蚊、ハエ、ブヨ、ムカデ（毒はない）、ネズミなどが生息している。地域により毒グモもいる。当国はゴミ処理、排水施設に問題があるため、蚊、ハエ、ネズミが生息しやすい。高層アパートでもゴキブリ、アリが侵入するため、アリコロリなど（入手可能）で退治している。地方ではダニにも悩まされるので、虫除けを用意するとよい。道にはトカゲが多い。

4-7 保健衛生

(1) 飲料水

主な都市では大瓶入りの飲料水を売りに来るので、これを飲用すること。ペットボトル入りのミネラルウォーター、飲料水も入手可能である。水道水は、洗浄や調理には使用できるが飲用には適さない。米を研ぐときは水道水、炊飯には瓶入り水とする邦人が多い。地方には水道がなく、雨水を貯めて飲み水に使っているところもある。

瓶入りの飲料水が入手不可能な場合は、水道水を煮沸させてから用いること。

(2) 濾過器の入手

大型日用品店で据付型の物が入手可能であるが、宅配してもらう水が安価なのでそれで済ませることも可能である。

(3) 蚊帳、防虫ネットの入手

バイエル社の蚊取線香（中国製。電気式マットタイプ・リキッドタイプもある）、蚊帳などが入手可能である。日本の蚊取線香のほうが効くという声もある。

(4) その他の留意点

地方によっては昼夜の寒暖の差が大きく、また、都市部でもエアコンの効き過ぎにより寝冷えすることが多い。

野菜などは農薬、土、汚れ、虫が付着していることがあるので十分に洗うこと。

5. 教育

5-1 教育事情

(1) 一般事情

義務教育は8年間、中等基礎教育（公立：Escuela、私立：Colegio）は2年間、高等学校教育（公立：Bachillerato、私立：Colegio）は4年間である。普通高校のほか、技術専門学校（Escuela Tecnica）、商業（実業）高校（Bachillerato Comercial）、各種技術専門学校（5年、Politecnico）、師範学校（Escuela Normal）がある。

大学では、昼間は働いて夜に受講する学生が多い。

<国立大学>

1538年創立の国立サント・ドミンゴ自治大学（UASD）のみである。正式に入学する前に1年間の準備教育（無試験）があり、ここで選抜される。医学部を除き通常

4年間であるが、卒業に必要な単位を取るまで在学できる。授業料は単位ごとに決定される。

<私立大学>

当地に11校あるほか、サンティアゴ、ラ・ベガ、サンフランシスコ・デ・マコリス、サン・ペドロ・デ・マコリスに各1校の計15校が設立されている。中でもUniversidad Pedro Henriquez Urena (UNPHU) は高水準である。入学試験の有無は大学によるが、進級、卒業は難しい。授業料は国立同様単位制であるが、保護者の収入によって異なるところもある。

(2) 日本人学校

文部省公認の日本人学校はない。補習授業校があり、幼稚園から中学部までの生徒が在籍している。補習授業校は保護者で構成する補習校運営委員会が運営している。

校舎はサント・ドミンゴ日本語学校*を借用し、週2日（水・土曜日）、夕方に2時間実施している。

*JICAの補助を受けて日本語学校運営委員会が運営している、日系人子弟対象の学校。

(3) 現地校、外国人学校

公立でも学区制がないため、評判のよい学校には生徒が集中する。公立、私立とも随時入学可能であるが、欠員がないと入れないことがある。

私立校の多くはスクールバスをもっている。制服の着用を義務づけているところが多い。いずれの学校も新学期は9月から始まり6月に終わる。

主なインターナショナルスクールは次のとおりである。

ABC School (The Americas Bicultural School)

所在地：Calle Fernando Valerio 2

電話：535-3354、535-3371、535-3376

FAX：535-3342

備考：25年以上の歴史をもつ。幼稚園（2歳～）から高校まで。入学金2000ペソ、年間経費3万5100～4万8000ペソ

American School of Santo Domingo

所在地：Cuesta Hermosa III, Arroyo Hondo

電話：567-6824、565-7946

FAX：541-2878

E-mail：a.school@codetel.net.do

備考：1980年設立。幼稚園～高校、生徒数700人

George Washington School

所在地：Calle 26 de Enero 3

電話：532-1279

Interamerican School

所在地：Ave. Abraham Lincoln 851

電話：540-1001、540-1013

FAX：565-7831

E-mail：colegio.interamericano@codetel.net.do

備考：7歳～高校

St. George School

所在地：Ave. Abraham Lincoln 552

電話：562-5262

E-mail：stgeorge@tricom.net

備考：1965年設立。幼稚園～高校。入学金2000～5000ペソ、年間経費3万5000～8万4200ペソ

The Carol Morgan School of Santo Domingo

所在地：Ave. Sarasota Esq. Nuncz de Caceres

電話：537-8080

E-mail：webmaster@cms.edu.do

備考：歴史は60年以上、幼稚園～高校。入学金1500ペソ、年間経費4万7232～10万5744ペソ

当国の法令に則ったカリキュラムで授業を行うインターナショナルスクールもあり、卒業すれば大学入学資格が得られる。そのほかは米国と同様である。幼稚園から高校まで併設されているが、小学校から高校までは学年末の進級試験に通らないと落第させたり、能力に応じて科目ごとに進級させるところもある。

夏期休暇時（6～8月）にサマースクールを開講したり、語学力不足の生徒を対象に補習授業を行っているところもある。

(4) 幼稚園

私立保育園が多数あり、3～5歳児が通園している。1歳児から受け入れるところもある。また、6歳児対象の就学前教育（Pre-Primaria、1年）があり、公立、私立校がある。私立では制服を定めているところが多い。入学は随時可能である。

5-2 入学手続きおよび授業料

(1) 日本人学校

1996年9月1日現在、補習授業校に入学金はない。授業料は年額1200ペソである。

(2) 現地校、外国人学校

入学時にスペイン語能力を見るための面接試験がある。その結果に基づいて教師と父母が相談のうえ学年を決めている。

学校により、1学年に入学するときには出生証明書（大使館が発行する）、編入するときには日本の修了証明書（大使館の翻訳付き）の提出を求められるところがある。

インターナショナルスクール（幼稚園を含む）の中には完璧な英語力を要求するところもある。おおむね制服が指定されており、通学は親が自家用車で送迎するのが一般的である。入学金は初年度のみであるが、登録料は毎年必要である。授業料は学年により異なるが、年度中に分割して支払うことも可能である。

各費用は次のとおりである。

<ABC School>

入学金2000ペソ、登録料1000ペソ、授業料1万7000～2万6300ペソ

<St. George School>

入学金なし、登録+授業料2万7400～6万3582.50ペソ

<The Carol Morgan School>

入学金3～4万ペソ、登録+授業料4万2000～9万3500ペソ

<George Washington School>

入学金2000～5000ペソ、登録料1400～1700ペソ、授業料3万7750～4万8683ペソ

このほかに面接試験料、PTA会費を別途徴収することが多い。

(3) 幼稚園

前項を参照のこと。

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

文化広場に立派な国立図書館がある。また、県庁所在地、そのほか文化クラブなどにもある。

(2) スポーツ施設

オリンピックセンター（Centro Olimpico）がある。野球、ソフトボール、テニス、バスケットボール、バレーボールなどの設備があり、一般に開放している。

5-4 家庭学習

(1) 家庭教師

英語の家庭教師の依頼は可能である。小・中学校各教科を対象とした家庭教師はいない。なお、ピアノ教室では個人教授が若干行われている。

(2) 通信教育

通信教育の方法、内容などについては海外子女教育振興財団に相談のうえ、十分な準備をする必要がある。

海外子女教育振興財団（ホームページ：<http://www.joes.or.jp>）

東京本部

所在地：〒105-0000 東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル6階

電話：03-3580-2521（代表）、03-3580-2827（通信教育課）

FAX：03-3503-7238

E-mail：joes1@netforward.or.jp

関西分室

所在地：〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

電話：06-6344-4318

FAX：06-6344-4328

(3) 携行したほうがよい家庭用学習教材

日本の学習要領に沿った教材はまったくないので、できるだけ日本から携行すること。

6. 家庭の使用人

6-1 一般事情

邦人の多くは家政婦を雇用しており、部屋の清掃、洗濯、アイロンがけ、食器洗いなどを頼んでいる。運転手は一部の人が雇用している。庭師、ガードマンはアパートに住んでいる人が多いのでほとんど雇用していない。全般に謝礼は値上がりの傾向にある。

6-2 運転手

(1) 雇用

信頼できる知人からの紹介がよい。面接して実際に運転を見て採用する。健康診断は実施していない。

運転手には労働法が適用される。1日8時間労働分の給与に加え、超過勤務手当（時給の130%、200%）、年末手当（初年度は給与総額の12分の1、次年度からは12月給与と同額）、年次休暇（1年を経過した時点で2週間）および退職金を支払わなければならない。

できれば雇用契約書を作成するのが望ましいが、実際はほとんどが口頭契約である。

賃金は利用時間帯などで交渉次第だが、およそ1500~4000ペソである。試用期間は3カ月、解雇通知は文書で1カ月前に出す。個人雇用で社会、健康保険に加入している人はいない。

(2) 日常管理

官庁などでは車庫が少ないため、出退勤時に運転手に車を預けているが、自家用車の場合は自宅で保管し、毎回取りに来てもらうのがよい。

運転日誌を記録させることをすすめる。その他、保守点検、洗車も義務づけること。

(3) 教育指導

運転マナーなど、気づいた時点でその都度注意する必要がある。一般的に、当国の運転マナーはあまりよくない。

(4) その他の留意点

ほとんど毎日接することになるため、関係がこじれないよう留意すること。

6-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

邦人家庭では1人を雇用し、掃除、洗濯を主体に、料理は手伝い程度か昼食の準備を任せていることが多い。

(2) 雇用

無難なのは、前任者から引き継いで雇用することである。しかしながら、ここ数年派遣者が増え、邦人家庭の経験者を順次引き継ぐだけでは間に合わない。その場合は、ガードマンや同じ建物で働いている使用人のツテで雇用することが多い。配属機関のカウンターパートから紹介を受けるのも方法である。日系人を雇用することは難しい。いずれにしても、身元の確かな人を雇用することが大切である。

契約はほとんどが口頭契約で、勤務時間、仕事の内容、賃金を取り決める。身分証明書 (Cedula) の提示を求め、コピーをとっておくのが望ましい。

通いと住込みがあり、どちらも土曜日の午後と日曜・祝日は休暇である。

賃金の支払いには週給と月給とがあり、通いの場合は週末払いが多い。給与額は住込みで家事一切を任せて月1500ペソ程度、週2回の通いの場合は交通費込みで住込みの40~50%増し程度である。住込みより通いで雇用している人が多い。ボーナスはなくてもよいが、クリスマス時期には通常の2倍の額を払ったり、プレゼントを渡したりする。退職金支給の制度はない。

(3) 日常管理

雇用主と使用人との立場を明確にすることが大切である。

大切な物はクローゼットや洋服ダンス、トランクに入れ、必ず鍵をかけて保管すべきである。万一紛失したときは、気づいた時点で徹底して原因究明すべきである。

6-4 庭師、ガードマンなどの雇用

一戸建ての場合は、庭師を月2~3回(1回100ペソ程度)雇用する必要がある。料金は月ごと、または1回ごとに支払う。知人宅に出入りしている庭師に頼むとよい。

ガードマンは個人的に雇用するケースもあるが、信頼できる警備会社からの派遣が望ましい。しかし、個人住宅で雇用しているケースは少ない。アパートの場合は警備費が管理費(共益費)に含まれている。

7. 交通事情

7-1 交通手段

(1) 一般事情

鉄道がないため、車が主要交通手段である。首都市内ではタクシー、乗合タクシーのほか、1998年後半より公共バス路線(OMSA: la Oficina Metropolitan de Servicios de Autobuses)が順次開通している。また、長距離バス会社3社(Metro、Caribe Tour、Terra Bus)が大型バスで主要都市間を結んでいる。

地方都市ではオートバイタクシー(モトコンチョ)の利用が多い。幹線道路のカリブ・中央アメリカの中ではハイウエーが整備されており、舗装率は高い。

当国には国際空港が観光地に近い場所に複数あり、国外からは目的地に近い空港に降りることができる。しかし、国内航空については整備が行き届いていない部分があり、信頼性、安全性に問題があるため、利用する人はきわめて少数である。

<タクシー>

流しはないので、タクシー会社に電話して無線タクシーを呼ぶか、ホテル前に待機しているタクシーを利用する。メーターがないため、念のため乗車前に料金を確認したほうがよい。無線タクシーのほうが安く、市内なら40～60ペソ程度である。ホテル前タクシーは60ペソからで走行距離、時間帯などによって若干変わる。なお、市内～空港間は180～300ペソである。JICA事務所でよく利用している無線タクシーはアポロタクシー（電話：537-7772）である。

<乗合タクシー（Carro Publico、コンチョ、グアグア）>

ほぼ一方方向に定められた路線を走る、乗降が自由な乗り物である。車両は普通乗用車やワゴン車を使用しているが、かなり古い物が多い。道の端に立って片手を道路側に斜め前に突き出し、手首を進行方向に振るようにして合図を送る。普通乗用車でも、前の座席に2人、後ろの座席には4～5人も乗せている場合がある。ワゴン車の場合は車掌が乗車している。2ペソか2.5ペソ、または3ペソを先に払い、降りたい場所を運転手に告げる。同じ路線を走るコンチョでも行き先は異なるので、乗車時に行き先を確認する必要がある。乗客が少ないときや、行き先によっては借し切ることができる。ただし、悪質な場合もあるので、夜間の利用は避け、変な感じがしたらすぐに降りること。特に女性は男性しか乗っていないコンチョは避けるべきである。また、両側の人物（一方は運転手の場合が多い）が示し合わせて巧妙に働くスリの被害は毎年のようにJICA関係者も受けている。あらかじめ料金のみを手にして乗車し、貴重品は手離さないこと。

<バス>

首都市内公共バスOMSAが前政権時にも導入され、その後、維持管理に問題があり廃止されたが、現政権が1999年に再導入し路線を拡大している（Ave. 27 de Febrero, Ave. John F. Kennedy, Ave. Maximo Gomez, Ave. Bolivarなど）。1999年8月現在、まだ路線図はないが、朝5：00から22：00まで運行され3ペソと安く、コンチョに比べれば安全なため利用者を集めている。停留所はわかりやすい。車掌が出口付近に乗務しており、料金3ペソを降りるときに支払う。

当地と地方都市間を運ぶ交通機関として、主にマイクロバスが利用されている。首都のバスターミナルは行き先によって異なる。また長距離バス会社が冷房付き大型バスで主要都市間を結んでいる。

(2) 自家用車を利用する場合

JICA関係者の多くは自ら運転をしている。車両台数が急速に増加しており、首都市

内は朝昼夕を問わず渋滞している。朝夕は警察官が交差点で交通整理を行っている。

全般的に、運転マナーは地元の人でも認めるほどかなり悪い。方向指示器を出さない右左折や進路変更は日常茶飯事である（もともと壊れて点灯しない車もあり、窓から手を出して合図することも多い）。また、少しでも先に出ようとするため、わずかなすき間でも割り込んでくる。こちらもある程度強引に入らないと、いつまでも進めないことになる。さらに飲酒運転も多く、接触や追突事故が多い。クラクションも頻繁に鳴らす。特にCarro Publicoは客を探しながら運転しているため脇見運転が多く、かつ急停車するので注意を要する。

赤信号になっても突っこんでくる車もあるので、後続車のクラクションに惑わされず、青信号になっても急いで発進しないほうがよい。信号が黄に変わったら、交差側の車両の発進が早いため、無理せず次の青を待つほうがよい。

信号は日本と異なり、交差点では前方が赤でも右折ができたり、時間差なく交差する側の信号が青になる。また、交差点によっても異なる。

停電や故障で信号が機能していないことがある。街灯も同様であり、夜間は特に注意が必要である。夜間に交差点を通過するときにはヘッドライトを上下させたり、クラクションを鳴らしながら通過したりするが、周囲の状況をよく確認するのが第一である。また、ハイビームにしている車も多い。

特に地方では、モトコンチョ1台に3～5人が乗っていることもあり、ふらふらと走行しているので注意が必要である。オートバイ運転者はヘルメットの着用が義務づけられているが、守っている人は少ない。車の前方はもちろんのこと、横や後ろにも常に注意を払う必要がある。

学校、警察などの公共施設の前や住宅地内の道路には、速度を制限するためにコンクリートでつくった半円形の凹凸（MuroまたはPolicia Acostado、MODERARの標識あり）があり、速度を落とさないとかかなりのショックを受けることになる。また、ときどき道路に小さな陥没があり、これを避けるために前の車が急に車線変更することがあるので注意すること。排水が悪い道路では大雨が降ると冠水する。

郊外へのドライブには、首都からAutopista（高速道路、通行料5ペソ）がある。北へはAutopista Duarte、西へはSan Cristobal Expressway、東へはAvenida Las Americasが延びておりおおむね快適である。

標識はあるが、町中に入るとわかりづらいことがある。その場合は、周りの人に聞けばたいてい親切に教えてくれる。

(3) レンタカーなどを利用する場合

乗用車、マイクロバス、ジープなどのレンタカー会社は空港をはじめ各地にある。利用するにはクレジットカード (VISA、MASTER、AMEX) が必要である。

月極め、日極め、走行距離による料金設定があり、ほとんどが前払いである。さらにデポジット (返車時に返還される) を要求される場合もある。1600ccクラスの乗用車で1日1000ペソ、1週間6000ペソ、1カ月2万3000ペソ程度である。ガソリンは自己負担 (満タンで借り、満タンにして返す) である。乗り捨てできる場所があるので確認しておくといよい。レンタカーには車両保険のみで対人・対物保険をかけていない場合が多い。運転には十分注意する必要がある。

Avis

所在地: Ave. Abraham Lincoln Esq. Sarasota

電話: 532-8786

Budet

所在地: Ave. Kennedy Esq. Ave. Lope de Vega

電話: 567-0175

Herts

所在地: Ave. Independencia 454

電話: 221-5333

Honda

所在地: Ave. Kennedy Esq. Ave. Pepillo Salcedo

電話: 567-1015

(4) 道路地図

入手が容易なのは1種類のみで、街やホテルの書店などで購入できる。表には全国および主要地方都市、裏には首都の市街地図が載っている。

7-2 交通事故

(1) 対処方法

保険の適用が必要な場合は警察の事故証明書が必要である。相手側と揃って最寄りの警察に出頭しなければならない。しかし、相手が逃げることがよくあり、その場合は中央警察に出向くことになる。当事者双方が揃わないときは中央警察でしか調書を作成できない。また、ただちに保険会社に連絡し、事後処理を任せること。警察が紹介する弁護士には依頼しないこと。

人身事故の場合は警察に一晩以上留置され、裁判の結果によっては交通刑務所で

服役しなくてはならない。

(2) 救急病院

オートバイ事故の負傷者は、主にHospital Dr. Dario Contrerasに運ばれる。この病院は「Hospitalホンダ（ヤマハ、スズキ、カワサキ）」と呼ばれることもある。

(3) 盗難

車両や車内の物品の盗難は多い。車両に防犯アラーム（2500ペソ程度）を取り付けたり、駐車時にハンドルロックをしている人が多い。ホイールキャップも盗まれることが多いため、ネジでキャップとホイールを固定したほうがよい。車から離れるときは外から見えるところに物を置かない、あるいは若干のチップを渡して車の近くにいる人に見てもらおうようお願いするなどの防衛手段も有効である。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

国際免許証で運転可能である。また、当地の免許証への切り替えもできる。切り替えするには、写真を撮るため運輸局に本人が出頭する必要がある。日本の免許証からの切り替えも可能だが、手続きが複雑なため、日本から国際免許証を携行するのが望ましい。

左ハンドル、右側通行である。右ハンドル車は法令により運行を禁止されている。一方通行が多いが、狭い裏道では対面通行であることが多い。優先道路は一方通行（矢印の標識がある）の道路と広い道路である。交差点に示されている白線の幅が細いほう（横断する方向）が優先道路で、幅が太いほうは一時停止しなければならない。

たとえ優先道路であっても、交差点では常に注意を払い、徐行するのが安全である。

制限スピードは市内では40km、市外は約100kmである。速度制限されているところ（軍や警察）には標識が立っている。

青信号は前方と左右に進める。青の矢印は矢印の方向にだけ進める。注意すべきは、左折禁止の交差点が多く、その表示がない、あるいは判別しにくいことである。また、信号が4つあるところは最後に左折の表示が出るようになっている。交差する道路の左からの通行車両がなければ、赤信号でも右折できる。ただし、左からの車が優先なので注意すること。直進車は右折車の進路を妨げないよう右側をあけておくこと。

警官が交通整理を行っている場合は、信号にかかわらず警官の指示に従うこと。

指1本を上げているのは黄信号、手の平を向けているのは赤信号、手をたたくのは急げという意味である。

運転免許証、身分証明書、車両登録証 (Matricula) 、保険証などの書類は必ず携帯しておくこと。コピーでも特に問題はないと思われる。原本を携行する場合は紛失、盗難に十分注意し、必ず、別途コピーを保管しておくこと。特にMatriculaは再発給手続きが複雑で、他人に名義を変更する場合にも必要なので紛失しないよう気をつけること。

ドミニカ共和国政府官用車を労働日以外などに使用する場合は、所属長から使用許可証 (Carta de Ruta) を取得しないと運転できない。警察にチェックされる。

(2) 対処方法

交通警察は車を停止させて免許証、車検証、点検票、保険、停止板、消火器、救急箱 (官用車は使用許可書) の提示を求めてくることがある。

万一違反を摘発された場合は、原則として反則キップを切られ、免許証をとりあげられ、後刻交通裁判所で裁判を受けて罰金を支払うことになる。

7-4 車の修理

(1) 部品

日本のすべてのメーカーの車が走行しているが、車種によっては代理店に在庫部品が少なく、取り寄せるまでに時間がかかることがある。純正品以外は品質に問題があることが多い。

(2) 修理工場

日本車販売代理店がアフターサービスを行っている。一般の修理工場では、手抜き修理や代替品での修理を行う場合がある。評判や値段を確認してから利用したほうがよい。

日系の修理工場は次のとおりである。

Autoservicio Japones

所在地: Calle Francisco Prats-Ramirez 228 Esq. Calle Teodoro Chacera

Ensanche Evaristo Morales

電話: 566-5375、562-4077

Hidaka Motors S.A.

所在地: Ave. San Martin 112

電話: 593-8181、594-4753

Taller Hermanos Arai

所在地：Calle Presidente Vasquez, Ensanche Alma Rosa

8. 通信

8-1 電話

(1) 一般事情

戦前から営業している米国GTEの子会社のCODETEL (Compania Dominicana de Telefonos) が最大の電話会社である。同社はほとんどの地域に電話サービスを提供しており (市場占有率80%以上、約80万回線)、地方の一部を除いて通信状況は良好である。

そのほか TRICOM、AACR All America、TURITELなどの電話会社がある。

毎月送られてくる請求書はチェックが必要である。また、請求書が送られてこない場合には問い合わせたほうがよい (電話：220-1111)。未払いが2カ月続くと回線を切られてしまい、再びつないでもらうのに手数料280.50ペソを徴収される。

(2) 国内電話

新規電話加入には信用が必要なため、あらかじめ電話が付いている住居か呼び出し可能な住居を借りるようすすめる。

市内は番号7桁をそのまま押す。市外は、番号の前に1をつけて押せば直通でかけることができる。オペレーターを経由するときは0を回し、相手の電話番号を伝える。

市内通話は1分ごとに20センターボ請求されるが、一定時間内の市内通話は基本料金に含まれている。

何度かけても違うところにかかる場合は、しばらく時間をおいてかけ直すこと。

公衆電話は人が集まる大学、病院前の通り、プラサ、スーパー内にあるが故障中の機械もある。1ペソ硬貨が必要で、市内であれば1ペソで1分間通話できる。

プリペイドカード式の電話は、国内長距離および国際電話も可能である。カードは4種あり、薬局やBONアイスクリーム店などで入手できる。農村部の公衆電話からはオペレーター経由となる。

月々の支払いはCODETELの営業所をはじめ、銀行、スーパー、薬局、美容院などで可能であり、電話でのクレジットカード払い (電話：220-1111) も可能である。イエローページ『Paginas Amarillas』はCODETELにて入手できる。

911番が警察、消防、救急などの緊急回線、568-2222番は時報と気温予報の番号である。

(3) 国際電話

基本的に、すべての国に直接通話が可能である。CODETELの長距離電話DDDは海底ケーブル、衛星通信、マイクロ波通信の3種類のシステムがある。

カリブ島嶼地域、米国、カナダへは最初に1を押してから次にエリア番号を押す。その他の地域は最初の011を押して、国番号、市外局番を押す。

日本へは011-81-頭の0をとった市外局番-電話番号でかかる。オペレーター経由の場合は0を押す。サービスに関する問い合わせはフリーダイヤル220-1111にするとよい。日本への電話料金は、CODETELで直通の場合、契約電話からは22.5ペソ/分、それ以外からは平日31.6ペソ/分、土曜18:00からと日曜全日、夜間は28.16ペソ/分である(税別)。

(4) 携帯電話

携帯電話はポケットベル(Beeper)とともにかなり普及している。日本の機種とは規格が異なるため当地で購入する必要がある。ノキア、モトローラ社製など種類が多く、販売店も多い。

機種によっては国際電話の受発信も可能である。機種をCODETELに持ち込むか、CODETELで機種を購入して番号を取得する。番号申請時は保証人が必要であるので、事務所で便宜を図っている。

携帯電話に一般の電話機から電話する場合は最初に1を押すが、携帯電話同士では必要ない。また、携帯電話から地方にかける場合も頭に1は必要ない。基本料金は275ペソで、他に税金が10%かかる。25分間までの国内通話は基本料金内である。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

普及率は高く、電話と同様に国内外に利用できる。CODETELの電話センターでもサービスを行っている。機器は当地で購入可能であり、日本メーカー製で3000ペソ程度からある。

(2) テレックス

機器を購入する必要があるが、ファクシミリの利用が一般的である。

(3) 電報

All America Cables and Radioが扱っている。料金は普通電で1単語あたり12.48ペソ、1単語は10字以内である。10字以上の単語は2倍の24.96ペソになる。これは

氏名、住所にも適用される。

Servicio Carta Nocturnaという翌日配達サービスがあり、21単語まで基本料金131.04ペソ、1単語増えるごとに6.24ペソ加算される。

(4) インターネット

インターネットの普及は著しく、Eメールアドレスを名刺に入れている当地の人も多い。プロバイダにはCODETEL、TRICOM、AACR All Americaなどがある。月料金は250ペソ程度である。特にCODETELは急速に加入者を増やしており、基盤整備、料金設定などの使用環境は良好であるが時間によっては接続しにくい。

CODETELの電話センターではインターネットサービスを行っている。また、インターネットができる店もある。日本でAOL、ATTなどに加入して当地の接続ポイントに接続する方法もある。

8-3 郵便

(1) 一般事情

一般的に郵便の信頼度は低く、民間サービスのほうが早さ、信頼性で勝っている。

JICA関係者のほとんどは事務所気付で郵便物、小包を受け取っている。首都では宅配もあるが、私書箱を設けるか事務所の私書箱を利用したほうが確実である。また、地方受け取りにすると時間がかかり、紛失の可能性が高くなる。

一般的に、日本から封書やはがきを航空便で送ると、JICA事務所には4～5日で到着する。郵便小包は受け取りに手間がかかり、また効率的に業務が行われていないため所在がわからなくなる可能性がある。よって、重要な物や確実に送付したい場合には国際宅急便（クロネコヤマト、DHL、Federal Expressなど）を使うことをすすめている。

当国から日本に郵便物を出す場合、街中のポストはなかなか回収されなかったりするので避けたほうがよい。中央郵便局で投函すると10日程度で到着する。郵便局はPlaza Central 2階にもある。小包は手続き、早さ、確実性などを考えると国際宅急便をすすめる。

日本までの航空郵便料金は、最低料金（10gまで）が28ペソ、プラス10gごとに28ペソが加算される。

郵便小包の発送・受取は、小包専用の部署（サント・ドミンゴ港の中にあるColis Postal）に出向かなければならない。本来、小包が到着すると郵便局から通知が来ることになっているが、時期によっては荷物が多いため対応が追いつかず、倉庫に山と積まれている。したがって、荷物が到着する頃（航空便で1カ月、船便で3カ月後）

を見計らって、倉庫に探しに行くのが確実である。一般に荷物の傷みは激しく、食品などはネズミの害に遭うことも多いので、内容物によっては推奨できない。

なお、受取には通知書のほか身分証明証（旅券など）、手数料20ペソ程度が必要である。JICA事務所では、事務所気付で送られてきた郵便小包については数がまとまってから受け取りにいく便宜供与をしているが、航空便料金を支払うなら国際宅急便の利用をすすめる。

日本までの小包発送は100gまで35ペソ、超過料金は50gごとに35ペソ加算される。

(2) 課税

書簡、書籍以外はほとんどが課税される。免税特権により免税対象となり得るものでも、当国の手続きに長期間を要し、その間の保管料もかさむ。したがって免税引き取り手続きは一般に行われていない。場合によっては低額で済むこともあるが、食品などは税金以外に経費がかかることもある。特になま物とみなされた物は、植物防疫検査局へ回される。しかし、1999年8月現在、関係者が日本から事務所気付で送付してもらっている一般の郵便小包および国際宅急便には課税されていない。

(3) 民間サービス業者

事務所ではDHLを利用しているが、他にもUPS、OCS、Federal Express社など、国際宅配便サービスの業者は多い。日本とは早ければ中3日で送受信できる。

UPS便の書類の最低料金は東京まで340ペソである。段ボール箱では重さや日本の地域によっても異なるが10ポンド740ペソ程度である。

国内郵便事情はよくないため、おもな地方都市へは長距離バス会社Caribe Tourが営業所止めで荷物や封書を運ぶサービスを行っている。

また、市内配達用にメッセンジャー、クーリエ会社もある。また、マイアミ経由の私設郵便局もある。

9. マスコミ

9-1 新聞

(1) 主な日刊紙

当地における日刊紙は、朝刊が、最大部数（8万8050部）の『Listin Diario』、『El Caribe』、『El Siglo』、『Hoy』、夕刊が『Ultima Hora』、『El Nacional de "Ahora"』、『La Noticia』である。サンティアゴには『La Informacion』、

【Dia】がある。

朝刊、夕刊とも交差点などで売られている。朝刊は宅配してくれる。いずれの日刊紙も定期購読契約が可能である（8～10ペソ）。

(2) 本邦日刊紙

個人で購読する場合は赴任前に申し込むこと。新聞はニューヨークから数日遅れで到着する。さらに、空港、郵便局で滞るので3～4日分がまとめて届くことが多い。ファクスサービスもある。

(3) 欧米紙

日刊紙は次のとおりである。申込先はGeyda（電話：566-4577）で、配達サービスはない。各紙の料金は次のとおりである。

日刊紙名

【The New York Times】

月～土（1部）：55ペソ

日曜版（1部）：125ペソ

年間一括払い：2万670ペソ

6カ月払い：1万1335ペソ

【The Wall Street Journal】

月～土（1部）：40ペソ

日曜版（1部）：なし

年間一括払い：1万420ペソ

6カ月払い：6240ペソ

【The Miami Herald】

月～土（1部）：45ペソ

日曜版（1部）：90ペソ

年間一括払い：1万7590ペソ

6カ月払い：9795ペソ

週刊誌には『Time』（30ペソ）、『Newsweek』（30ペソ）がある。

9-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

当地には31のAM・FM局がある。

(2) ラジオジャパン

1999年8月現在、当地時間の18：00～19：00に周波数9685KHzで日本の朝7：00の

ニュースを聴くことができる。定期的に周波数が変わるが、周波数表はJICA事務所に送付される。

受信状態は、時期、気象条件、周囲の建造物、建物内の位置などに左右される。一般には周囲に遮るもののない高い建物の窓際がよい。室外、室内に別途アンテナを設置するとよくなることもある。数mのビニール被覆電線をベランダや窓際に張り、一端をラジオのアンテナに2～3回巻き付けるだけでも違うので、試してみるとよい。

NHK国際局編成部

所在地：〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話：03-3465-1111

番組表を含む情報提供サービス：<http://www.nhk.or.jp/rjnet/index-j.html>

日本語放送の周波数表Fax Service：03-5454-0888 情報番号260

(3) 聴取可能なその他の外国放送

英国BBC、米国VOA、スペイン国营放送、フランス国营放送などが聴取可能である。

当国は難聴地域であるので、国際放送を受信するためには前述のような注意が必要である。その他時間帯、周波数帯も選ぶ必要がある。高性能の短波ラジオは高価で入手困難であるため、日本か米国などで調達するとよい。

9-3 テレビ

(1) テレビ放送局

国营放送局を含め6局がカラーで放送している。放送時間は局によって異なるが、6：00～24：00頃である。番組は新聞に掲載されている。

(2) テレビ受信

放送方式はNTSC方式である。チャンネル周波数帯が異なるため、日本から受像機を持参しても一部の周波数しか受信できない。日本仕様ビデオデッキ内蔵のテレビチューナーも同様である。受像機は種類も多く高くない。ビデオはやや高価である。

(3) ライセンス料金など

ケーブルテレビ会社が2社あり、米国の番組を放映している。これは別途契約する必要がある。申し込み先、受信料などは次のとおりである。

Telecable Nacional

電話：542-6612

料金：設置料818ペソ、受信料（月極め398ペソ、年間一括4539ペソ）

備考：12~18局ほど受信できる。地方都市では不可能である。番組ガイドブックには英語（1週間分）とスペイン語（1カ月分）がある

10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

10-1 映画、演劇

(1) 映画館

首都には映画館が多い。たいていはシネマ・コンプレックス形式で複数館が一つの建物に同居している。通常、平日は19:00前後から2回（18:00頃から始まる映画館は3回）、週末は17:00前後から3回上映され、料金は総入れ替え制で50~70ペソである。封切りは日本より早い、興行期間は短い。開演時間は新聞に掲載されている。

地方都市ではSan Fco. Macoris、La Romana、Puerto Plata、Santiagoに各1館程度ある。

Santo Domingo市内の映画館は次のとおりである。

Palacio del Cine (Palacio A,B)

所在地：Ave. 27 de Febrero (Asturiasスーパー隣)

Manzana de Oro, Cine Broadway

所在地：Ave. 27 de Febrero, Plaza Central内

Cineplex Naco

所在地：Ave. Tiradentes, Plaza Naco裏

Cinema Lumiere

所在地：Ave. Independencia

Cine Issfapol

所在地：GuarocuyaとCentro Olimpicoの間 (El Millon area)

Hollywood Diamond

所在地：Ave. Abraham LincolnとAve. Kennedyの間

備考：一番新しい

(2) 劇場

国立劇場が文化広場(Plaza de la Cultura)にあり、国立交響楽団の拠点として2、9、10月に演奏会があるほか、オペラなども上演され華やかに着飾った紳士淑女でにぎわう。

Palacio de Bellas Artes (所在地: Ave. Maximo Gomez Esq. Ave. Independencia) ではコンサート、演劇、文化イベントがある。そのほかCasa de Bastidas (所在地: Calle Las Damas, Colonial)、Casa de Teatro (所在地: 110 Arzobispo Merino, Colinoal)、スペイン大使館が協賛するCentro Cultural Hispanico (所在地: Arzobispo Merino) などがある。

地方では、La RomanaのAltos de Chavon (人工の街) に5000人収容の野外劇場がある。

10-2 出版、書籍

(1) 一般事情

ほとんどが米国、スペイン、メキシコ、アルゼンティンなどからの輸入物で、当国の出版物はわずかである。

週刊誌には『Rumbo』(30ペソ)、『Santo Domingo News』(6ペソ)があり、『Rumbo』は定期購読が可能(電話: 476-7200)で年間875ペソである。配達サービスもある。

日本の雑誌、書籍はなく、日本から郵送してもらうしかない。年に1回、4~5月にかけて大規模な本の市がインファティル公園で開かれ国内各地から人が集まる。

(2) 書店

各ショッピングセンター、スーパーマーケットのコーナーや旧市街にある。価格は店によって異なることがある。売り場面積が大きい本屋は次のとおり。

Cuesta Centro del Libro

所在地: Ave. 27 de Febrero (スーパーNacional内。入り口別)

電話: 537-5017

10-3 語学学習

(1) 語学学習施設

英語、スペイン語を教える学校は、次のとおりである。個人用授業も可能などところが多い。

Entrena, S.A.

所在地: C/Rafael F. Bonnelly 26

電話: 567-8990、541-4283

備考: ドミニカ人家庭にホームステイする集中4週間コース(1日7時間授業)がある

Instituto Cultural Dominico Americano

所在地: Ave. Abraham Lincoln 21

電話：535-0665、533-4191

備考：初心者初歩集中クラス（月～木9：00～11：00）（月・水18：00～20：00）。

中級クラス（月～木18：00～20：00）3カ月サイクル、英語も開講。

週2回830ペソ

Universidad APEC

所在地：Ave. Maximo Gomez 72

電話：686-0021

備考：8：00～10：00、10：00～12：00、16：00～18：00、月～金、3カ月サイクル700ペ

ソ程度。他に英語、ドイツ語、イタリア語、日本語も開講している。子供から大人
までのクラスあり

Lengua y Cultura

所在地：201 Wenceslao Alvarez, Gazcue

電話：682-8986

備考：ドミニカの文化の説明を取り込んだ初心者、中級、中上級、上級クラス

Fisk

所在地：Ave. Romulo Betancourt 1372, Bella Vista

電話：533-3727

備考：子供、10代、大人向けコースがあり、入講はいつでも可。英語も開講

Lebron & Barney

所在地：Ave. Sarasota 24 Esq. Ana Teresa Paradas

電話：537-7700

備考：子供から大人まで。英語も開講

<他言語の学習施設>

仏語

Alliance Francaise

所在地：Horacio Vicioso 103, Centro de los Heroes

電話：532-2844

備考：15：00～20：00に5歳以上クラス、8～12歳クラス、10代クラス、大人クラスなど

多様なプログラムがある

英語

上記の他に子供向けには次のとおり。

Kids Creative

所在地：Virgilio Diaz Ordonez 4

電話：683-6685

Read to me

所在地：Freddy Prestol Castillo 98

電話：540-5698

イタリア語とドイツ語は当該大使館が提供している。

(2) 家庭教師

スペイン語の家庭教師は知人の紹介で容易に探すことができ、新聞広告からも探すことができる。

週2回、1回2時間が平均で、1時間当たり100～200ペソである。日系人の家庭教師もいる。

10-4 文化活動、文化施設

(1) 一般事情

料金は大人または外国人料金

<博物館>

新市街も文化広場にあり、公園の中にドミニカの有史からの歴史がわかる人類博物館 (Museo del Hombre Dominicano/火～日10:00～17:00、入場料10ペソ)、近代美術館 (Galeria de Arte Moderno/火～日9:00～17:00、入場料20ペソ)、鯨の骨がある自然科学博物館 (Museo Nacional de Historia Natural y Geografia、火～日9:30～17:00、入場料任意)、自然史博物館 (Museo de Historia Natural火～日10:00～17:00、入場料10ペソ)、国立劇場、国立図書館が点在している。

<水族館(Aquario Nacional)>

開館：火～日9:30～17:30

料金：15ペソ

1990年に開園し、空港と市内を結ぶ海沿いの通りにあり、カメの池や巨大水槽のサメやエイの遊泳を水中トンネルから眺めたり、ダイバーによる餌付けもある。

<国立植物園(Jardín Botánico Nacional)>

開館：月～金9:00～18:00

料金：10ペソ

備考：1976年に開園し、珍しい熱帯植物や日本庭園もありトラムで回れる

<国立動物公園 (Parque Zoologico Nacional:ZOODOM)>

開館：月～土 9：00～17：00

料金：15ペソ

備考：1975年に開園し、ラテンアメリカでは最大級の大きさでトラムで回れる

(2) 日本友好協会などの有無と活動内容

日ド文化協会、訪日研修員同窓会が、日本文化週間の開催などに協力している。そのほかに日ド商工会議所があり、会報を発行している。

(3) その他の文化活動、文化施設

国立劇場が文化活動の中心でコンサート、オペラ、劇などが頻繁に開かれる。チケットは同劇場の入り口で購入する。正装で来る人もおり、あまりラフな格好で出かけるのはよい。

10-5 写真、ビデオ

(1) 写真

フィルムは特殊な物を除けば入手は容易である。スライドフィルムを扱う店は限られる。いずれもメーカー純正品は日本より割高である。

本格的な1眼レフカメラの入手は非常に限られる。リチウム電池は一部入手困難な物もある。

DPEはスーパーの中などあちこちにあるがコニカ、アグファ、コダックがあり、コダックのシェアが大きい。カラープリントは、以前、発色があまりよくなかったが、機械化が進み仕上がりがよくなった。一時間仕上げの店もあり、朝出すと昼にはでき上がる。スライドを扱う店もあるが確認をしたほうがよい。

(2) ビデオセット

機器は容易に調達可能であり、日本のメーカー品もある。市販価格は割高である。

日本のビデオテープも当国で販売される機器で再生可能である。なお、日本仕様のビデオデッキを持ち込んだ場合、内蔵テレビチューナーでは周波数帯が異なるため、当国のテレビ放送を受信できないので注意する。

日本からビデオテープを取り寄せるには宅急便が無難である。原則として1本から課税される。レンタルショップは多いが、一部は海賊版のため画質が劣る物もある。

(3) 各種テープ

生テープは2時間用で100ペソ程度である。

10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

(1) 音楽会、コンサート

当国唯一の国立オーケストラ (Sinfonica Nacional) が定期演奏会を行っている。

また、海外からソリストを招いてのクラシックコンサートも開催される。主な会場はBellas Artesのホールと国立劇場の2カ所である。

Ave. 27 de FebreroのAve. LincolnとAve. Winston Churchillにはさまれた区間は、中央分離帯に軽食スタンドなどが続き、週末の夕刻頃からミニ・コンサートが開かれることがある。5月には当地のビール会社が主催する3日連夜の野外ラテンコンサートがオリンピックセンター内競技場であり、大物も出演して有名である。

(2) コーラス、演奏グループ

アマチュアグループの活動は盛んではない。

(3) ピアノなど

ピアノの需要は少なく、販売店はあるが選択の余地はない。レンタルは困難である。

ピアノの流通が少ないことから専門の運送業者もない。調律師もきわめて少なく、ピアノの家庭教師を探すことも難しい。高温、多湿、停電により空調も十分稼働しないことなどから、良好な状態で保つことは非常に難しい。

(4) CD、レコードなど

レコードを扱う店もあるが、日本同様CD全盛である。販売店のほとんどは小型店舗で、テンポのよいメレンゲ・バチャータ (ドミニカ民族音楽)、サルサ (プエルトリコ音楽) が主体である。欧米のロック、ポップスもかなり出回っており、他の中南米の音楽や米国で流行の曲も販売されている。日本の音楽はない。

(5) 民族楽器

2拍子のメレンゲに使用されるグワイラ、タンボーラ、ギターがある。音楽教室もある。

(6) その他の楽器

ヤマハの代理店 (Fernando Giraldez / 電話: 683-0305) があり、ドラム、電子ピアノ、エレキギター、ベースを扱っている。

日本の小学校で使うたて笛、パーカッションなども入手できる。

10-7 手芸、絵画、美術工芸など

(1) 手芸

よい糸があるので、編棒などを持参するとよい。刺繍用品は調達できる。

布を入手できる店は次のとおり。

La Isla

Ave. Tiradentes

El Corte Fiel

Plaza Central店、Unicentro Plaza店、Conde店

Santander

Calle Victor Garrido Puello 23

(2) 絵画、美術工芸

民芸品として焼き物の人形があり、土産物店で求めることができる。

隣国ハイティの絵 (Primitive Style) が街路でたくさん売られている。言い値と最終的な買い値とは相当な開きが出るので交渉するとよい。また、画廊も多い。

絵画、工芸の材料は調達できる。絵画を教えているところは次のとおり。

Museo de Arte Moderno

所在地：Plaza de la Cultura

電話：685-2153

備考：7～12歳対象、木曜日

Escuela Nacional de Bellas Arte

所在地：El Conde Esq. Ave. Isabel la Catolica

電話：687-8383

備考：14歳以上

Artiris

所在地：Primera 2D Ausentes

電話：534-5790

備考：8歳以上

Private Atelier

所在地：Residencial Hatuey Apt 4C2

電話：562-0089

備考：子供対象

Galeria Guillo Perez

所在地：Francisco Prats Ramirez

電話：302

備考：10歳以上

10-8 趣味

(1) 園芸

熱帯観葉植物を鉢植えにして、インテリアとして育てている家が多い。花屋は多く、種も入手できる。

Florella Jardin Japonés (加藤花店)

電話：567-6398

Gimnasio MATSUNAGA

電話：565-5817

(2) 釣り

盛んではないが、海では岸釣り、磯釣りのほか、トローリングが多い。沖に出るとカジキマグロも釣れる。ただし、船を借り上げるにはファンドリオ（メトロ・ホテル）、ボカ・チカ海岸、ラ・ロマーナやパルマルデオコアに出向かなければならない。したがって、海釣りはグループで出かけることが多い。釣り道具は特殊な物を除き、簡単な道具は当地で入手できる。

また、川釣りを楽しむ邦人もいる。いくつかのダム湖では地元の人々がブラックバスなどの釣りを楽しんでいる。

10-9 娯楽、遊戯など

(1) 娯楽、遊戯、ゲーム

ポピュラーな娯楽として、海水浴とダンスがある。海水浴は、一般庶民はボカ・チカの海岸へ行き、上流階層は別荘がある海岸に行く。ダンスはディスコやパーティーで主にメレンゲ、サルサ、バチャータを踊る。

また、闘鶏は庶民の楽しみの一つで、いくつかの町には闘鶏場がある。首都には競馬場がある。

そのほか、主なホテルにはカジノがあり、外国人でにぎわっている。

ダンス教室は次のとおり。

<メレンゲ・バチャータ・サルサ>

Ritmos Espacio de Danza

所在地：Ave. Winston Churchill, Edif. Colonial

電話：562-4577

La Academia

所在地：Padre Pina 103, Gazcue 687-6954,

電話：535-2017

<フラメンコ>

La Giralda

所在地：Calle 12 #14, Urb. Fernandez

電話：567-5453

Escuela Superior de Ballet

所在地：Ave. Abraham Lincoln 21

電話：533-4191

Gitanilla Taller de Danzas Espanolas

所在地：Calle Yuma Esq. X 7, Naco

電話：541-4166

El Patio Andaluz

所在地：Rafael Augusto Sanchez 99, Evaristo Morales

電話：566-8248

<ベリーダンス>

Vanessa D'Angulo

所在地：Rafael Augusto Sanchez, Plaza InterCaribe, 419

電話：563-3654

Ana Luna D'Angulo

所在地：Gaspar Polanco 318, Mirador Norte

電話：532-7008

<エアロビクス>

Gimnasio Matsunaga

電話：565-5817, 566-6241

Fitness Studio

所在地：Boy Scout 8

電話：567-5030

(2) レジャーランド、遊戯、ゲーム

ゲームセンター（ビデオゲーム）がプラザ内などいくつかありにぎわっている。ビリヤード場もあちこちにあり、市内に一つボーリング場もある。木陰でドミノに興じる人も見かける。

郊外にはゴーカート場もあり、日本より低料金で楽しめる。

子供たちは凧上げ、野球、バスケットボールなどに興じている。

10-10 スポーツ

(1) テニス

テニスは盛んなスポーツの一つでオリンピックセンターにあるテニスコートは黒板に予約すれば誰でも利用できる。また、ホテルのテニスコートも会員にならなくても利用できる。ラケットは当地でも入手できる。

軟式テニスは連盟が結成されている。ラケットやボールは連盟から借りることができる。

Hotel Santo Domingo Swimming & Tennis Club

電話：221-1511

備考：3面のアスファルトコート

Hotel Dominican Fiesta Club

電話：562-8222

備考：8面のアスファルトコート

Hotel Embajador Cabana Club

電話：221-2131

備考：2面のクレーコート

Hotel Jaragua Tennis Club

電話：221-2222

備考：4面のクレーコート

Santo Domingo Tennis Club

電話：562-6918

備考：レッスンあり

Casa de Espana

電話：537-1802

備考：レッスンあり

Club Arroyo Hondo

電話：541-9911

備考：レッスンあり

<スポーツ用具店>

Playero Sports

Ave. Winston Churchill (Plaza Universitaria並び)

Molino

C/El Conde 258 (電話：688-7196)

(2) 水泳

ホテルやジムのプールを利用する。プールは管理が行き届いており、水質、病気などの心配はない。ダイビングクラブもあり、指導を行っている。

スイミングクラブには次のものがある。

Aqua Flamberg

所在地：Calle El Corozal 5

電話：535-7474

備考：入会金1000ペソ、年会費1200ペソ

Maribel and Carmen Rosa Solis

所在地：Calle Federico Geraldino 58

電話：535-2381

(3) その他のスポーツ、用具、ウエア

自転車

ロードとマウンテンバイクがあるが、マウンテンバイクは北海岸のCabarete areaにIguana Mama Mountain Biking Adventure Tour co. (電話：571-0908)で楽しめるほか、モカやハラバコア近郊の山間部でも楽しめる、ロードはサントドミンゴ市内のMirador del Sur公園が朝夕、車両通行止めになり格好のロードサイクリングの場になっている。自転車は入手可能である。

ジョギング、ウォーキング

サントドミンゴ市内の公園は朝夕、ジョギング、ウォーキングを楽しむ人が多い。特にMirador del Sur公園は多くの人でにぎわい休日は出店もある。他にMalecon, Centoro Olimpico, Botanical Gardenも人気である。また、最も盛んなスポーツは野球である。地方に行っても野球場は必ずある。

プロ野球チームは冬期シーズンに6チーム、夏期シーズンに4チームある。冬期シーズンには米国のメジャーリーグで活躍している選手が帰郷し、助っ人として参加するのでレベルが高い。テレビでも放送される。またリトルリーグもある。

Liga de Pelota San Geronimo電話：566-2686

Club Los Prados Baseball Little League.....電話：566-9292

Liga de Baseball Jose Chagui.....電話：534-4174

ソフトボール（チーム登録可能）、バスケットボールも盛んである。

プロスポーツの中で強いのはボクシングである。

スポーツ用品専門店に限らず、スーパーマーケットにもスポーツ用品コーナーがあり、用具、ウエアは容易に調達できる。

近年、ダイビングも盛んで各ビーチ、ホテルにて受け付けている。特に邦人に対して安くレンタルサービスを行っているダイブショップがあり、日本語での資格取得が可能である。

フアンドリオ (Juan Dolio) 海岸

Hotel Punta Garza Calypso Diving Center…………電話：526-2127

“Padi”のダイビング免許取得も3～5日間250USドル程度で行っている。

(宿泊別)

北海岸ではSosua, Las Terrenas, Punta Rucia, 南海岸ではLa Caleta, Saona, Punta Canaなどがダイビングスポットであり、難破船、Maletaなどそれぞれ特色がある。

(4) スポーツクラブなど

スポーツクラブは多数あり、その設備などには格差があるが、一般的にはプール、テニス、バレー、バスケットコートにクラブハウスがあり、レストランが併設されている。

最近会員を募集している新設のクラブ（前記以外にウエイトトレーニング、エアロビクス、サウナ、ゴルフ練習場付きなど）の入会金は、すべてプレーできるコースで1人100ドル、年会費100ドル程度である。

そのほか、ソフトボールクラブのような単独のクラブ、サウナ付きのアスレチッククラブもある。邦人の加入も可能である。スポーツジムは次のとおり。

Body Shop

所在地：Plaza Nacomall

電話：549-6620

備考：プール併設

Body Health

所在地：Ave. 27 de Febrero

電話：565-5156

備考：プール併設

Boy Scout #8

所在地：Ave. 27 de Febrero

電話：567-5030

Gimnasio Ketty

所在地：David Ben Gurion 3

電話：562-1757

備考：女性のみ

Your Place

所在地：Nunez de Caceres

電話：537-7695

Gold's Gym

所在地：大使館近く

10-11 子供の遊び

おもちゃの種類は豊富でないが、クリスマスの時期になると多数出回る。

土・日曜日には親が海岸や公園に連れて行くことが多い。ハンバーガーショップなどに子供の遊び場が付設されているところが増えてきている。

11. その他のサービス

11-1 金融機関

Banco BHD

所在地：Plaza BHD, Ave. Winston Churchill Esq. Ave. 27 de Febrero

電話：541-3232

Banco del Comercio Dominicano

所在地：Ave. 27 de Febrero Esq. Ave. Winston Churchill

電話：545-5100

Banco de Reservas

所在地：Isabel La Catolica 201, Zona Colonial

電話：686-2266

Banco Popular

所在地：Ave. J. F. Kennedy 20

電話：544-8000

備考：国内最大手で支店も多い

Banco Nacional de Credito

所在地：Ave. Tiradentes, Esq. Ave. J. F. Kennedy

電話：540-4441

Citibank

所在地：Ave. J. F. Kennedy

電話：566-5611

東京三菱銀行ニューヨーク支店を大多数が利用している。JICA関係者が同銀行に口座開設する場合は、日本で手続きをする必要がある。帰国時は、口座解約手続きを忘れずに行う。しかし、同行の知名度は当国ではないので、個人小切手は特定の両替商のみの扱いとなる。ドル現金の受け取りも可能である。

Agente de Cambio Hugo Alfonso. S.A.

Juan Albarra 2 Esq. San Martin.....電話：566-5913、566-6075

Japan Travel電話：685-3232

当地銀行での口座開設は、非居住者の場合には旅券や運転免許証などの提示が求められる。Banco Popularでは普通預金口座を125ペソ、小切手口座を2000ペソで開設できる。海外からの送金は、ほとんどの銀行は米国以外からは1週間以上要する。しかし、当国法律でドル送金はペソでの引出しとなる。ドル預金は条件付きで可能である。

銀行の営業時間は、8：30～16：00が一般的だが、プラザなどにある支店は平日18：00まで、土曜の午後や日曜の午前中も営業している支店もある。

11-2 コンピュータ

コンピュータビジネスは当国でもブームであり、IBM、Hewlet Packard、COMPAQ、Samsungなどが販売されているが日本メーカー製のコンピュータは販売されていない。Appleの専門店もある。

販売店も多く、品数は多くなってきたが常時店にあるハード、ソフトは限られており、それ以外は米国からの取り寄せとなる。関税、輸送料などから一般に割高であるがバーゲンもある。米国から直接メールオーダーで取り寄せる方法もある。

フロッピーディスクの調達に問題はない。プリンタは、EPSON、Apple、Hewlet Packard、キヤノン製品などが販売されているが、特にバブルジェットタイプは高価(500ペソ程度)である。スキャナーも販売されている。

電力事情がよくないため、上質の電圧安定器、無停電電源装置が必要である。割高だが輸入品が入手可能である。日本製100v仕様の物に使用するステップダウントランスは当地では販売されていないので、持参する必要がある。

修理の技術レベルはあまり高くない。また他店で購入した物に関しての対応は概し

てよくない。

また、毎年10月にDominican Fiesta Hotelにてコンピュータショーが開催される。

11-3 美容院・理髪店

美容院は多い。カット、シャンプーで200~300ペソ、パーマは800~1000ペソと料金はまちまちである。高級店ではマニキュアサービスも行う。

邦人経営の美容院は次の3軒である。チップが必要。

Mi Salon (日高美容院)

所在地：Ave. Bolivar 259

電話：682-5319、685-6469

Peluqueria Japonesa (広光美容院)

所在地：Ave. 27 de Febrero 70; Plaza Quisqueya

電話：567-8050

福永美容院

所在地：Ave. Independencia 505

電話：685-9555

また、Cuesta Cento del Juguete と Plaza Cataluna のそれぞれ2階に子供用美容院がある。

理髪店も多数あり、整髪のみなら10~15分で完了し、値段は100~150ペソである。洗髪・ひげ剃りを希望する場合には別に依頼する。

美容・理髪用品については外国製が豊富にあるので、当地での調達は十分可能である。一般に香りや刺激は強いので、必要に応じて持参することをすすめる。

12. 観光

12-1 地方旅行上の留意点

- ① 外国人の旅行に対して規制はない。地方都市の治安は首都よりも比較的よい。また、主な観光地では英語がかなり通じる。
- ② 国立公園が14カ所と自然保護地域が7カ所あり、ビーチリゾートだけではなく、山登り(最高峰Pico Duarte:3175m)や川遊びもできるが、いずれも観光基点を車でめぐるのが一般的である。高速道路(Autopista)が整備されているので日帰りか一泊程度でも首都に戻ってくる事ができる。

12-2 主要観光地・保養地ガイド

① サントドミンゴ市内・近郊および保養地は、次のとおりである（料金はいずれも外国人大人）。観光産業が有力産業なためホテルなどは多数ある。

<旧市街 Zona Colonial>

ユネスコ文化遺産に指定されているオサマ川沿いの石造りの建物が並ぶ地区。

エル・コンデ通りCalle El Condeは当地の銀座ともいえるところで、衣料品店を中心に各種店舗が並んでいる。見どころは、歴史的建造物で新大陸で初と名がつくものが多い。アタラサナス・レアル (Atarazanas Reales) 博物館、コロンブスの息子Diegoの私邸アルカサル (Alcazalde Colon)、霊廟であるパンテオン (Panteon Nacional)、オサマ砦 (Fortaleza Ozama)、コロンブスの像があるコロンブス公園 (Parque Colon)、新大陸最初の大聖堂 (Cathedral Primada de America)、歴代提督の家で日本の甲冑もある王宮博物館 (Museo de las Casas Reales/火~日9:00~18:00、入場料15ペソ) などで歩いて回れる。

特にCalle las Damasはスペイン統治時代の面影を残した通りである。

<文化広場 (Plaza de la Cultura) >

新市街にあり、公園の中にドミニカの有史からの歴史がわかる人類博物館Museo del Hombre Dominicano (火~日:10:00~17:00、入場料10ペソ)、近代美術館Galeria de Arte Moderno (火~日:9:00~17:00、入場料20ペソ)、鯨の骨がある自然科学博物館Museo Nacional de Historia Natural y Geografia (火~日:9:30~17:00、入場料任意)、自然史博物館Museo de Historia Natural (火~日:10:00~17:00、入場料10ペソ)、国立劇場Teatro Nacionalが点在している。

<コロンブス灯台 (Faro a Colon) >

新大陸発見500周年を記念して建設され、コロンブスの遺体もここに移された。

内部は博物館で中南米諸国を中心に各国のパビリオンになっていて、日本の展示室もある。週末は夜間にライトアップされ、巨大な十字架が雲に投影される。

<三つ目カ池 (Los Tres Ojos) >

コロンブス灯台の近くにあり、先住インディオが住んでいた鍾乳洞で中に3つの池がある。

<ボカ・チカ海岸 (Boca Chica) >

サントドミンゴ市内より28Km、車で1時間の近さもあって最も人気がある。

ホテルのプライベートビーチのほか一般向けの海水浴場もある。レストランから海に入れる。

<ファン・ドリオ海岸>

Hotel Playa Real (電話：472-1774、サントドミンゴ) がある。海水浴場。ゴルフ場もある。

土産物はZona Colonial地区のアルカサル近くのアタラサナ (La Atarazana) 通りには骨董品や土産物屋があるほか、Plaza Central内にも2軒、土産物店がある。ほかに次のところでも求められる。

特産は 琥珀製品、黒珊瑚、鳥などのクラフト製品、コーヒー、ラム酒、葉巻、メレンゲやパチャータのCD、陶器や木彫りの人形、絵画などある。

瀬藤土産物店

所在地：Calle Palo Hincado

電話：682-2596

Plaza Criolla

所在地：Ave. 27 de Febrero

電話：567-7433

備考：土産物店ばかりのショッピングセンター

Mercado Modelo

所在地：Ave. Mella

備考：土産物のマーケット

地方都市については次のとおりである。

<プエルト・プラタ>

海水浴場、プール、ゴルフ場、テニスコート、乗馬施設があり、観光のポイントはケーブルカー、琥珀の博物館、要塞、ソスアの海岸である。

<ラ・ロマーナ>

ゴルフ&ウエスタン社がつくった国内最大のレジャー施設がある。主なホテルは、Casa de Campo Hotelで付属施設としては、海水浴場、プール、ゴルフ場、テニスコート、ポロ、クレー射撃があり、観光のポイントは人工の街アルトス・デ・チャボン (ホテル、野外劇場、土産物店、河川) である。

<サマナ>

観光のポイントは風光明媚 (特に湾と橋梁) なことである。それと、1～3月末まで“くじら”ウォッチングが楽しめる。近年、世界的にも注目を集めはじめた地域である。

<ババロ海岸>

観光のポイントは、海水浴、沐浴である。ゴルフ場もある。

<プンタ・カーナ海岸>

地中海クラブ（電話：567-5228、サントドミンゴ）の会員保養地であるが、入場料（1日60ペソ、昼食付き）を払えば遊ぶことができる。また、空き室があれば宿泊もできる。観光のポイントは海水浴、沐浴である。

<バラオナ>

観光のポイントは海水浴である。なお、この近くにはエンリキヨ湖（海拔マイナス40mの塩水湖）とポーロ山に行く途中に魔女の坂（下り坂が上り坂に見える）がある。

<Los Haitises 国立公園>

サマナ湾にあり、サマナから国立公園事務所よりボートを備上して珊瑚礁の山の周囲を湾側から見物する。マングローブ林、洞窟、奇怪岩、ペリカン、アメリカ軍艦鳥などが楽しめる。

12人でボート備上は500ペソ程度である。

<Armando Bermudez国立公園(Pico Duarte)>

最高峰Pico Duarteへの登山は、La Cienega村の入り口でガイドとロバを備上できるので、できるだけ備上したほうがよい。3日の行程であるが、食料、コンロ、暖かい服、懐中電灯、寝袋などを持参したほうがよい。雨期は避ける。なお、ほかにEbano Verde, Valle Nuevoの保護地域を楽しむにはJarabacoaを經由して3日程度の行程となる。

<東部国立公園>

サントドミンゴから約145kmのところにある国立公園でMella ハイウエーを利用してアクセスも容易である。

本土の森林地域とSaona島からなり、洞穴がある。ツアーはBayahideの公園局にて毎日ある。

<Isla Cabrito国立公園>

Cabrito島は南西に位置するEnriquillo湖にある島で、この海拔マイナス44mの塩湖には多数のワニが生息する。

島には2種類のイグアナと、フラミンゴがいて、楽しめる。島に渡るボートはLa Descubiertaの公園事務所にて予約する。島には何もないので飲み物を持参し、ワニが見られる朝夕に訪れるのがよいので、BarahonaかLa Descubiertaに宿泊したほう

がよい。

<Jaragua国立公園>

南西に位置する最大の国立公園で、Oviedo沼とBeata島からなり、乾燥した地域のためサボテンがあるが、沼にはフラミンゴをはじめ多数の鳥が生息して、バードウォッチングが楽しめるほか、イグアナやカメがいる。観光施設やガイドツアーはないが手付かずの自然が堪能できる。

② ホテル料金は、ホテルの格やシーズンによっても異なるが、1999年8月現在、かなりよいホテルでも以前より値下げが見られ、3食バイキング、アルコール類付、一泊1部屋2名利用ですべて込みで1400ペソ程度からある。

(すべて込みの料金設定 (sistema <Todo Incluido>) をしているホテルが多い。

<ボカ・チカ>

Boca Chica Resort & Beach Club (437部屋)電話：523-4521

Coral Hamaca Beach & Casino (460部屋)電話：523-4611

<ファン・ドリオ>

Melia Juan Dolio (270部屋)電話：523-4521

Coral Costa Caribe Beach & Casino (492部屋)電話：526-2244

<ラ・ロマーナ>

Casa de Campo (300室他)電話：523-3333

<プエルト・プラタ>

Complejo Riu (436室)電話：320-4000

Amhsa Puerto Plata (216室)電話：586-4243

Hacienda Tropical (160室)電話：586-1227

<プンタ・カーナ>

Complejo Riu (系列ホテルが4つあり、全部で1337室)電話：221-7171

Melia Bavaro (750部屋)電話：221-2311

Fiesta Bavaro (596部屋)電話：221-8149

Fiesta Palace (264部屋)電話：221-0719

<サマナ>

Occidental Gran Bahia (106室)電話：538-3111

El Portolito Beach Resort (170部屋)電話：589-9546

<バラオナ>

Amhsa Riviera (108部屋)電話：524-5111

Casa Bonita (12部屋)電話：696-0215

③ 観光案内所は次のとおり。

サントドミンゴ (Oficina de Turismo)

所在地：Isabel la Catolica 103

電話：682-0185

ボカ・チカ (Informacion turistica)

所在地：Duarte Esq. Caracol (Centro Boca Chica)

電話：523-5106

ラ・ロマーナ

所在地：Calle Teniente Amado Garcia (Gobernacion)

電話：550-6992

プエルト・プラタ

所在地：Hermanas Mirabal 8

電話：586-3676

プンタ・カナ

所在地：Calle la Altagracia (frente a la basilica)

電話：554-2672

リオ・サンファン

所在地：Calle Duarte, cerca de la Laguna Gri-Gri

電話：589-2831

サマナ

所在地：Santa Barbara, Edificio Gubernamental

電話：538-232

12-3 旅行

(1) 自動車

- ① 5,000kmの幹線道路網と1万5000kmの支線道路網があり中米カリブ地域では道路網が最も発達している国の一つである。高速道路 Autopista は制限速度が100 km/h前後で快適なドライブを楽しめる。料金は普通車で5～10ペソでコインを投げ込む方式のため両替が必要な場合には、それ専用の料金ゲートに並ぶ。幹線はほぼ舗装されていて、一部補修がされていない場合もある。Brugal社の名前の入った道路標識なども比較的完備されているが、分岐点での表示がわかりにくく（特に街中での分岐）、慣れない土地では、地元の人にたずねると大概、親切に

教えてくれる。

ガソリンスタンドは各都市ごとにあり、困ることはない。値段は、1999年8月現在、無鉛ガソリンが1ガロン27.90ペソである。サービススタンドは長距離バスも利用しており、軽食もとれる。

② 主な観光ルートは次のとおりである。

東方面

- ・ Santo Domingo-Boca Chica-Juan Dolio-San Pedro de Macoris-La Romana(140Km)
- ・ Punta Cana-Higüey-El Seibo-Hato Mayor-Sabana de la Mar(150Km)

北方面

- ・ Samana-Parque Nacional de los Haitises-Sanchez-Nagua-Laguna Gri-Gri-Cabarete(150km)
- ・ Puerto Plata-Luperon-La Isabela-Monte Cristi(130km)
- ・ Puerto Plata-Santiago de los Caballeros-La Vega-Jarabacoa-Constanza-Bobao(205km)
- ・ Santiago de los Caballeros-Moca-Salcedo-San Francisco de Macoris-Cotui(100km)

西方面

- ・ Santo Domingo-San Cristobal-Bani-Azua de Compostela-Neiba-Lago Enriquillo(510km)

③ 地方のドライブでは、特に運転マナーの悪い車に気をつける。また路上に岩石や物が転がっていたり、荒れていたりとるので注意する。場所により牛馬などにも注意が必要で、夜間は照明がない場合が多く、またハイビームにしている車両が多いので運転には細心の注意を要する。

また、雨で川が増水し冠水する道路もある。当地の雨は激しいので非常灯を点灯させて走行したほうがよい。

(2) バス

国内長距離バスは国内を網羅しており、次の3社他にリクライニングでトイレ、冷房付きの大型バスを運行しており、高速かつ快適である。出発先および時刻は新聞に掲載されている。

また、別に各地方都市へは頻繁に定期バスが運行されており、主にマイクロバスクラスで、冷房なしの車両が使用されているが、たまに、エンコしているのを見かける。

Metro Expreso

乗り場：Calle Hatuey Esq. Ave. Winston Churchill

予約：566-7126～9、8都市

Caribe Tours

乗り場：Ave. 27 de Febrero Esq. Leopoldo Navarro

予約：221-4422、40都市

Terra Bus

乗り場：Ave. 27 de Febrero Esq. Anacaona, Plaza Criolla

予約：472-1080、2都市

(3) 鉄道

旅客輸送用の鉄道はない。

(4) 航空機

国内線に小型機が運航されているが、安全性、信頼性は高いとはいいがたい。

12-4 旅行代理店

旅行代理店は多数あり千差万別なので、信用のあるところを選ぶべきである。

JICA関係者がよく利用する旅行代理店は、次のとおりである。

Japan Travel (邦人経営) ……………電話：686-3232

Reidosa Travel (日系人勤務) ……………電話：541-9888

12-5 ホテルなど宿泊施設の手配

特に観光シーズン(11～4月)は、半年ぐらい前から予約しないと確保できないこともある。

また、シーズン以外でも予約したほうが確実である。また、予約していても、到着が遅いとキャンセルされてしまうことがあるので、到着予定時刻を連絡しておく。

代理店を通じて予約できるところと、直接、電話で予約するところがある。中には予約金50%を徴収するところがある。また、ホテルのチェックインの際は、クレジットカードの提示を求められることが多く、所持する必要性がある。有利なカードとして、VISA、AMEX、MASTERなどがある。

13. 治安、緊急時の心得

13-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

政治的な要求を行うストライキ (Huelga) があり、事前に警察に届が出されるが、一部でエスカレートして道路で投石やタイヤを燃やしたり、車両を破壊したり暴動化する場合もある。また、選挙についてはエキサイトしやすい傾向があり、選挙運動の集まりなどには近づかないほうがよい。

(2) 緊急時の連絡

緊急時の連絡網は、JICA事務所および日本国大使館で作成している。また、安全対策の心得をJICAで作成、配布しているのでこれに従う。

ラジオ・テレビによる情報収集に努め、不要な外出は避けることが肝要である。日頃より信頼関係にある当地の人の情報も参考にするとよい。

JICA事務所では元警官を安全対策クラークに委嘱しており、犯罪月報の日本語訳を作成している。また随時不穏な動向については、必要に応じて関係者に知らせている。

国立サントドミンゴ自治大学の学生が紛争を起こすことがある。周辺道路の閉鎖がなされるので警官の指示に従うこと。警官がいなくとも、路上にゴミや石が散らばっていたり、火が燃えていたり、妙に車や通行人が少ない場合は要注意である。この騒ぎを鎮めるため、しばしば催涙ガス弾が打ち込まれる。催涙ガスは皮膚に触れてもちかちか感があるが、これを吸入すると眼症状のほかに呼吸困難、嘔吐、めまいを起こす。治療には2%の重曹水で洗眼し、温湿布を行うか、またはアメロピンを点眼するとよい。

13-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況など

治安は悪化の傾向にある。米国への出稼ぎ者が犯罪に手を染め、服役して強制送還されてくるドミニカ人は年間千人いるといわれ、銃を使った凶悪犯事件もかなり報道されている。在留邦人および旅行者もピストル強盗、ひったくり、スリ、空き巣の被害に遭う人が増えている。乗合タクシー内でのスリは複数が組んで実行するケースが多く、一方が注意を引いておいて相方がする。また、バイクに乗ってするケースも多い。

また、特に独立家屋の場合は念入りの自衛手段を講じる必要があるが、アパートでも屋上から侵入したり、窓の鉄枠をのこぎりで切断して侵入された場合がある。非常

階段は泥棒の侵入路となりやすい。

車の盗難については、警察に届けて1～2日で発見されない場合はまず出てくることはない。また、人通りの少ないところや暗がりに駐車すると、窓ガラスを割って中の物が盗まれることがある。駐車場所は慎重に選び、適当な人が周囲にいたら見ておいてもらうとよい。

サントドミンゴ市内では、Ozama川より西ではおおまかにいうと東西に走るAve. Kennedyより北側、Ave. Maximo Gomezより東側に貧しい人が多いが、特にOzama川沿いでDuarteの橋より北側に麻薬の売人や売春婦が多い。銃による犯罪も多い最貧地区で、Sanchez橋の対岸と同様、特に夜間は近づいてはいけないうし、昼間でも歩いてはいけないう。また、西側ではAve. Luperonの西側も貧困地区である。

一方、北のCerros de Arroyo HondoやLomas de Ao Hondo地区は最富裕層が暮らすうが、使用人たちの貧しい家も並存する。

ハリケーン・ジョージによる被災者が市内に流入し、川沿いなどに不法に居住する一方、Ozama川の西側地区の家賃の高さを嫌って、東側のEns. Ozma地区Ens. Alma Rosa地区などの人口増加が著しいが、北側は貧しい地区と隣接していて、はじめて入るときには、どの地区でも周辺の様子に気をつけたほうがよい。

(2) 防犯対策

まず常時警戒を怠らず、外部から見ても嚴重な警備がされているという印象を与えることが大切である。また、外出時に留守だと確信させない工夫、大金や高価な物を家には置かないこと、信頼できる隣人と連絡し合い助け合うことも大切である。

女性はハンドバッグをとられやすいので、大金や高価な物を入れない。

華美な服装での外出は目を引きやすく、ひったくりなどに対する注意が必要である。

自家用車については盗難予防の警報装置を取り付ける人が多い(3500ペソ程度)。ただし、わずかな振動や衝撃(ときに雷鳴や、通行人が触れただけ)での誤作動も多く警報音が鳴り響いているのをよく聞く。

ハンドルロックも合わせて有効である。ホイールキャップも盗難に遭うのでネジで固定させたほうがよい。

外出先では駐車場所の選定がもっとも大切である。

強制保険に加え、任意保険の加入も必要である。掛け金は非常に高いが(年1万6000ペソ程度)、対人補償額は小さい。

(3) 被害時の心得

事件が発生したら、速やかに警察に通報するとともに、JICA事務所や関係者にも連絡して協力を得ること。

13-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況など

ハリケーン (Huracan) の季節は6月から11月でピークは8～9月で年に数回来襲する。1998年9月に来襲したジョージは1997年のデイビッド以来の強力なハリケーンで大きな被害をもたらした。

地震はときおり微少なものを感じる程度であるが島に地震帯が通っているともいわれ、実際に大災害があったのは1947年である。1993年にも震度5の地震もあった。

(2) 防災対策

ハリケーンについてはメディアに注意する。Telecable Nacionalが視聴できる場合には専用の気象チャンネル36がある。インターネットは(<http://www.drl.com/index.shtml>)である。

気象庁からはadvertencia、Alert、Avisoの順に警報が出され、Avisoが出たら上陸地点、予定時間も発表される。停電への備えや一時的な水、食料の確保、戸締まりに気をつける。

地方ではダムの決壊、洪水、川の氾濫で陸の孤島となる場合もある。

地震については耐震設計の構造物が少なく、万一、大型の地震があった場合には不安であるが、家具などの安定化などはしておきたい。

また、アパートには非常階段のないことが多く、高層アパートに居住する場合には火災の発生を想定し、避難用ロープなどを備える必要がある。

<主な連絡先>

緊急全般	911
気象庁 (Meteorologia)	592-0611
消防 (Bomberos)	682-2000、687-3776
赤十字 (Cruz Rojo)	682-4545
国家警察 (Policia Nacional)	221-3004、682-3151
無線パトロール (Radio Patrulla)	687-3151
Defencia Civil	687-4488
電力公社 (CDE)	537-1111

(3) 被災時の心得

ハリケーン通過後には、垂れ下がった電線による感電事故が多く、十分注意したい。

またJICA事務所で策定した自然災害対策マニュアルに従って行動する。必要に応じて緊急連絡網を活用する。緊急時の避難指定地（日本語学校）、もしくは安全な知人宅、ホテルへ一時避難する。

14. 出入国手続きおよび帰国手続き

14-1 入国時

(1) 空港施設概要

サントドミンゴの空港はそれほど大きくないのでわかりやすい。JICA事務所では調査団、専門家、青年海外協力隊員などの空港出迎えを実施しており、入国審査や通関の際、補助している。

(2) 入国手続き書類

機内で入国カード (Tarjeta Internacional de Embarque - Desembarque) を受け取り、必要事項を記入しておく。このカードは本来ドミニカ人用であるが、公用査証での入国となるため必要になる。申し出ないと渡してもらえないので、要求すること。査証があればツーリストカードは不要である。

税関申告書、外貨持ち込み申告書はない。入国カードの裏側には「Mision de la Cooperacion Tecnica oficial enviada por el Gobierno del Japon」に加え、「a. 調査団長：Jefe de la Mision、b. 団員：Miembro de la Mision、c. 専門家：Experto de JICA、s. Voluntario(a) de JICA」、査証の番号を記入する。

なお、業務目的以外の場合は、3カ月以内の滞在については査証を取得してくる必要はない。査証は最長1年間である。その後は当地で更新することになる。

(3) 入国審査

旅券と入国カードを審査官に提出すると入国スタンプを押され、返却される。質問を受けることはまずない。税関に入るときに、入国カードを係官に提出する。

(4) 税関検査

税関申告書は不要である。入国審査終了後、返却された入国カードを税関入口で係官に渡して税関に入る。荷物引き取り後、税関検査を受ける。検査台はドミニカ人用、外国人用および外交官専用と分かれており、公用旅券所持者は外交官検査台を使用する。

野菜・果物・苗木・種子などの植物は持ち込み禁止となっている。食料品は原則として輸入禁止である。少量でも検疫を受けなければならない。

他の物品については明確な制限はないが、商品とみなされ得る数量を携行する場合は注意が必要である。電化製品、特にパソコン、テレビ、ビデオや計測機器などは課税される可能性が高い。ビデオテープは少量であれば特に問題はない。普通は開梱せず通関してしまうが、段ボール箱に入っていて明確にわかるような電化製品は開梱させられる。課税されることとなった場合、免税特権のある場合でも税関に一時預け、後日免税申請により許可取得後、改めて引き取ることとなる。

(5) 空港内での留意点

預けた荷物が未着のときには、税関ロビーにある申告カウンターで申告用紙に記入する。税関の検査台から出迎えの車までは、ポーターが荷物を運搬してくれる。ポーターのチップは荷物1個が10ペソ程度である。

(6) 空港からの主な交通手段

タクシーを利用する。市内中心部まで33Kmで約40分、料金は250ペソ（組合統一料金）である。ドルで支払うと20ドルぐらい要求される。メーターはついていないので、乗車する前に料金を確認しておくこと。

(7) その他の留意点

外貨は荷物受取ロビーと2階（到着ロビーは1階）の出国ロビーにある銀行で交換できる。ただし、夜間は閉鎖されている。

年末年始およびイースターの時期は海外居住者が一斉に帰省するので、空港はきわめて混雑する。特に12月、3月の入国便、また1月、4月の出国便を利用せざるを得ないときは、かなり早めに予約する必要がある。

米国経由の場合、ニューヨークかマイアミでアメリカン航空を利用してサントドミンゴに入ることになるが、同社はドミニカ共和国入国者に対して厳しい方針をもっており、片道チケットの場合、チェックインカウンターで公用旅券を示しても帰りのチケットがないと搭乗できない旨断固いわれる場合があるので、英語かスペイン語のドミニカ政府の受け入れがわかるようなレターを持参していたほうがよい（サントドミンゴからプエルトリコ間のチケットを購入させられたケースがある）。

米国の査証は、C（出発国へUターンできず、第三国へ出国しなければならない通過型）ではなく、B（出発国へUターンできる滞在型）を取得しておくことが望ましい。通過査証で出発国へUターンする場合はVisa Waiverフォームにより米国入国することとなる。

ドミニカ共和国に3カ月以上滞在する場合は、日本国大使館に在留届を提出するとともに、原則として移民局に外国人登録をしなければならない。外国人登録証明書を取得しておけば査証を更新する必要もなく、また、再入国許可証が発給されるので出入国に際し便利である。なお、公用旅券の場合は免税である。この手続きには5×5cmの正面および側面の写真（5枚）が必要であるが、インスタント写真が撮れる店は多数ある。当国に居住する人は、身分証明書（Cedula）の番号があらゆる書類作成時に必要になる。身分証明書を取得するには、事前に外国人登録をしなければならない。派遣専門家、協力隊員については着任後、速やかに当国外務省に身分証明書の発給を依頼している。この手続きは日本国大使館が行う。

14-2 出国時

(1) 出国時の概要

特になし。

(2) 出国手続き上の留意点

航空会社のカウンターで搭乗手続きを行った後、出国審査を受ける。その際出国カードが必要なので、あらかじめ用意しておくこと（航空会社のカウンターにある）。空港利用税は10ドルで、搭乗口直前の専用カウンターで支払う。これはドルで支払わなければならないので注意する。

外国人の居住者証明書は、外国人登録証を提示しなければならない。

乗客が多い季節（夏休み、クリスマスなど）には、特にエコノミーはオーバーブッキングにより乗れないことがあるので、空港には早めに出向きチェックインする。

出国審査も大変時間がかかるので、出発時間に危なくなったら航空会社係員へ申し出て搭乗口へも早めに行く（中にも土産物屋はある）。

14-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

渡航先追加、通過国の査証取得、航空券購入の免税手続きを行う。

(2) 車の処分

免税で購入した車は、帰国時に車検証、ナンバープレートを外務省経由で大蔵省へ返還する必要がある。売却先が決定していれば、買い手の氏名、身分証明書番号、住所を記載し、購入時に取得した免税許可証などの関係書類のコピーを添付し、譲渡申請を行う。新ナンバーが交付されるまでには約3カ月を要し、その間は使用できないので注意すること。名義変更ができずに購入者に迷惑をかけることを避けるためにも、購入時の全書類の保管とその譲渡は重要である。

取得後2年を経過していない場合、残期間に対する税金を支払うこととなるが、2年間の起算日については明確でない。売却処分後の名義変更は免税許可取得日を日安に2年を経過したものにおいて実施している例もある。

一般ナンバー車の売却の場合は、一連の法定手続き（警察証明、新聞公示、売却金額の2%の国庫納入）を経ることとなる。2週間程度で名義変更は完了する。

売却方法には、知人またはその紹介、新聞広告、または中古業者への売却などがあるが、特に問題になるのは、前述の免税の残期間分の取り扱いと名義変更終了までの運行不可能な期間などである。

(3) 家財道具の処分

知人に譲るのがほとんどであるが、新聞広告を出して売る方法と、中古家具店に一括売却する方法もある。

本邦へ返送する場合、少量であれば国際宅配便が最も確実である。また、運送業者に依頼する場合、梱包から配達まで一括して依頼することもできるが、梱包時には必ず立ち会う必要がある。自分で梱包し、輸送のみを依頼する方法が安全かつ確実である。当地から日本国内までの配達を依頼するときわめて高額になる。

いずれも航空便（貨物扱い）と船便とがあるが、盗難により届かないことも多い。

したがって保険をかけるのがよいが、保険求償には事故証明の書類の手配とかなりの時間がかかるので、あきらめるケースも多い。

別送荷物を送ったときは入国時税関において別送荷物の申告をしておくこと。

JICAから移送を認められた輸送機材（基本的に日本からJICA負担で送付した物のみ）については別に梱包し、輸送経費の内訳を明確にしておく。

(4) 住宅の明け渡し

契約書に従い、通常1カ月前に通告する。その際、文書で通告しておくトラブルが発生したときに役に立つ。

敷金・前払い家賃などの扱いは各契約書に従うこととなるが、最後に返還されることになっているものは、最後の家賃と相殺するほうが無難である。契約によっては敷金から室内のペンキの塗り替えや破損の修理にあてるところが多い。

そのほか、電気、電話、ケーブルテレビについては、文書で解約の通知を出し、最後の月の清算にあたっては、後任者または家主に概算払いをしておく。なお、電気の敷金は解約時に返還されることになっているが、その手続きに半年くらいを要し、何度も足を運ばなければならないので、実際には捨て金となる。

(5) 外貨持出し規制

当地通貨のドルへの再両替は、換金時の証明書があれば換金額の30%を限度に空港の銀行で可能である。長期滞在者は、任期満了近くには大量のペソへの換金をしないのが賢明である。レートが悪いのを覚悟すれば、残ったペソでドルを購入することは可能である。

外貨の持ち出しは18歳以上、1人1万ドルに制限されている。

15. 私財の輸送、引き取り、購入

15-1 家財道具

(1) 輸送業者

Teodulo Aquino (発送)電話：536-4041

La Flor de Mayo (発送)電話：685-3620

Miguel Ortiz (税関からの引き取り業者)電話：547-1627

(2) 輸入手続き

携行荷物以外の荷物を別送する方法として、①郵便小包、②アナカン、③貨物、④国際宅配便がある。郵便小包と船便は市内の郵便局および港で、②および③の航空便はラス・アメリカス国際空港にて引き取る。

②および③は航空便が到着すると、取扱航空会社より通知（郵便、あるいはJICA関係の場合出入りの引き取り業者に託されて）がくる。ラス・アメリカス国際空港における航空会社の貨物取扱所で通関手続きを行い、税関検査を受けて引き取る。課税対象品があれば、貨物運送状（Airway Bill）を受け取った後、大使館経由で免税手続きを行い免税許可証をもってラス・アメリカス国際空港で通関手続きを行う。

船便の場合は、船積み後、船荷証券（B/L）が宅配便で送付されてくるので、これをもって通関手続きを行う。ただし、100ドル以上の物（実際には船便ではすべて）は、大使館を通じて事前に免税通関手続きをする必要がある。

なお、通関手続きは個人ではできないので、通関業者（事務所では前述の会社を主に利用する）に依頼するのが賢明である。

ドミニカ共和国政府による免税許可証発行までには長期間（場合により3カ月）を要する。その間、倉庫保管料が課せられることがある。したがって私財については時間、保管料、荷物の傷み、盗難紛失などへのおそれから、正式免税手続きをせず事情に通じた業者に即引き取り、配送委託している。手数料と配送料が必要であるが、指

定場所まで数日で配送される。課税対象になるが、現在までのところ特に多額の課税がなされたことはない。

(3) 輸入荷物の受取り港

船便の引き取りは、サントドミンゴ港ないしハイナ港である。

(4) 家財道具の購入

電化製品は、日本、韓国、米国、欧米メーカーの一通りの物が購入可能である。割高ではあるが、当地仕様のため電圧（110v/60Hz、220v/60Hz）などの問題はない。プラグの形状も日本の物が使用できる。

家具については、専門店も含め購入先は多い。

15-2 自動車

(1) 一般状況

自動車はすべて輸入品である。日本車は約77%のシェアを占めており、車種は限定されるが、すべてのメーカーのものがある。その他、米国、ドイツ、フランス、イタリア、ブラジル、韓国製などが多い。

当国では関税が高く、車は一般に高価であるので、日本で発注を済ませるのが無難である。欧米メーカー製小型車は、課税購入でもさほどの割高感はなく、車種などにこだわらなければ一考である。当地にて免税購入をすることも不可能ではないが、特別な利点はない。JICA/大使館関係者間など、信頼できる相手を除き、中古車の購入はあまりすすめられない。

(2) 輸入手続き

免税特権のある人は、個別にドミニカ共和国政府に許可を申請することにより輸入が可能である。出発前に日本で購入、発送手続きを行うのが、免税で購入する場合、最も安全かつ簡便な方法である。着任後車を早く使用したい場合、購入、船積み発送など早めの手続きが必要である。

日本で購入手続きをする際、新品、中古品を問わず船積み書類など一式をJICA事務所へ送付する。JICA事務所ではドミニカ共和国政府への免税輸入許可申請（通常許可取得まで1～2カ月要す）を日本国大使館経由で行う。

車両到着後、免税輸入許可書をもって税関から引き取り、車両検査後「免税」ナンバープレートの交付申請という手順となる。通関については各自動車メーカーの代理店か通関代行業者に手続き委任するのが一般的である。免税プレートはJICA事務所から日本国大使館経由でドミニカ共和国政府に申請する。交付まで通常2～3カ月を要する。

(3) 任国での購入

帰国するJICA関係者などから購入する場合、免税許可から2年経過後（課税を避けるため）に名義変更を行う例がある。この場合、売り主（専門家）が帰国前に名義変更に必要な手続きを終えておかなければならない。この手続きについてはJICA事務所に相談すること。

当国での新車購入の場合、課税購入であれば日本や欧米のメーカーを問わず一定の車種の範囲内で選択可能である。日本や欧米メーカーについてはたいてい正規代理店があるが、扱っている車種はごく限られる。

非正規ディーラーはさまざまな車種を輸入しているが、保守体制に十分注意する必要がある。いずれにせよ関税のため一般にかなり割高（特に中高級車）な買い物となるが、小型マニュアルミッション車などは安価なものも手に入る。課税購入の利点として、まず購入した日から使用できる点があげられる（ディーラーが本人名義のプレートを取得してくれる間、ディーラー名義のナンバーで運転することが可能である）。

帰国時および売却時の名義変更に必要な日数も、免税プレートの場合と比べて格段に短い。特に任期の短い人は一考に値する。

当地での新車免税購入も不可能ではないが、希望車種、免税輸入許可取得、免税プレート交付までに要する時間などを考慮して、日本からの免税購送と比べて特段の利点は見あたらない。

(4) 自動車登録

税関で引き取った後、車両検査を受け、検査書を添付し、ナンバープレートの交付申請を行う。

ナンバープレートの種類には、官公庁、外交、領事、免税、自家用乗用車、バス、タクシー、貨物車、特殊車、二輪車がある。JICA関係者の特権免除による購入の場合は免税ナンバーとなる。なお、課税購入にかかる一般ナンバープレートの場合は1年に1回更新登録料の納付が必要（数千円程度）となる。

(5) 免許証取得

国際免許証を持参すれば当国の免許証に切り替え可能である。日本の運転免許証からの切り替えも可能であるが、当国政府公認通訳による翻訳文を付して申請しなければならないなど、手間がかかる。

当地で免許を取得するには、実地試験と筆記試験がある。邦人が着任早々パスするのはなかなか困難である。

申請時には視力の証明が必要である。当地で指定医に赴き検査を受けるか、日本からの健康診断書の写し（英文がよいが、JICA事務所が利用する特定医院では和文でも可）をもとに指定医の証明を受ける。申請後取得まで2～3カ月を要する。有効期間は通常3年後の誕生日までである。免許証の更新は交通局で行う。

国際免許証は発行日以降1年間に限り通用する。

車検は年1回の制度があるが、厳密に実行されているわけではない。一般個人車の場合、1年有効のステッカーをフロントガラスに貼付、走行している。

(6) 保険、税金

保険には強制保険と任意保険の2種類がある。任意保険にも加入することをすすめる。保険金、車両価格、年式などにより異なるため、保険料を一概に算出することはできないが、保険金の約5%程度が年額と考えておけばよい。かなり高額な掛け金を払っても対人補償額は微々たるもので、事実上盗難や損害保険の色合いが濃い。

加入申し込みは、保険会社あるいは代理業者に電話をすれば、説明の後申込書を作成してくれる。

事故発生の場合、警察に事故届を行うとともに保険会社へも連絡する必要がある。保険金請求時には警察発行の事故証明書が必要となる。

16. 社交

16-1 風俗習慣

スペイン的気質、敬虔なカトリックの精神、忍従的ながらも陽気なアフリカの気質、ジャズやロックのアメリカニズムなど多様な要素が一体となり、国民は屈託がなく開放的である。

16-2 パーティーでの留意点

パーティーには電話で招待されるものと、招待状によるものがある。招待状にはパーティーの主催者、目的、場所、服装、出欠の返事の要否などが書かれているので、よく注意して見る。R. S. V. P. とある場合には仏語のRepondez s'il vous plait の意なので出欠の返事が必要である。パーティーには着席、ビュッフェ形式（立食形式）や茶会などいろいろある。着席する場合は席割りがされているので、氏名入りのカードまたはホストの指示に従う。食事はホストが食べはじめるまで待つのが常識である。

邦人は邦人同士または男性、女性同士だけで集まる傾向があるが、会話は男女一緒に、またカクテルパーティーのときにはまんべんなく会場を歩くよう心がける。

16-3 来客時の留意点

家庭に招くことは最高の歓待である。客を迎え入れる際は握手して迎える。親しい間柄の場合は、女性同士はもちろんのこと、男女間であっても軽く頬を合わせて抱擁する。

16-4 訪問時の留意点

招待側の準備の都合を考えて、指定された時間より30～45分程度遅れていくのが一般的である。私的なパーティーであっても、すすめがない限りは子供を同伴しないのがマナーである。また、夫人同伴の招待が常識であるので、子供がいるからとの理由で夫人がたびたび欠席するのは好ましくない。できる限りベビーシッターを雇用し、子供が慣れるよう育児教育に心がけることが肝要である。

誕生日などに招待されたときは、事前に花店から花カゴを送っておくとよい。親しくなると子供の誕生日に招待されることが多くなる。

手土産は必ずしも必要ではないが、ささやかな日本の品物を贈るとたいへん喜ばれる。

私的に招待を受けたときは、できる限りなんらかの形で招き返すのが当地のマナーである。

名刺はあまり使用しないが、挨拶に出向くときなどは必要である。その際、名刺は地位の低い方から先に相手に渡すこと。当地でも印刷可能である。

16-5 禁止されている言動

子供は背負わないこと。衆人の前で授乳しないこと。人前では靴を脱がないこと。

アパートのベランダに洗濯物を干すことは好ましくない。日本ではお金を表すのに親指と人差指を丸めて輪をつくるが、このしぐさは絶対にしないこと。

衆人の中における邦人同士の挨拶は、軽く頭を下げる程度にして握手するほうがよい。

17. 任国官公庁

主要なものは次のとおりである。執務時間は、いずれも7：30～14：30である。

大統領府技術庁 (Secretariado Técnico de Presidencia)

所在地：Palacio Presidencial, Ave. Mexico, Santo Domingo

電話：688-3007

同庁企画局 (Oficina Nacional de Planificación)

所在地：Oficinas Gubernamentales, Ave. Mexico, Santo Domingo

電話：221-5140、221-8628

外務省 (Secretaria de Estado de Relaciones Exteriores)

所在地：Ave. Independencia 752, Santo Domingo

電話：535-6280

大蔵省 (Secretaria de Estado de Finanzas)

所在地：Ave. Mexico 45, Santo Domingo

電話：687-5131

厚生社会福祉省 (Secretaria de Estado de Salud Publica y Asistencia Social)

所在地：Ave. San Cristobal, Esq. Tiradentes, Santo Domingo

電話：541-3121

スポーツ省 (Secretaria de Estado de Deportes, Educación Física y Recreación)

所在地：Centro Olimpico, Ortega y Gasset, Santo Domingo

電話：540-4010

労働省 (Secretaria de Estado de Trabajo)

所在地：Calle Jimenez Moya 9, Centro de Los Heroes, Santo Domingo

電話：535-4404

農務省 (Secretaria de Estado de Agricultura)

所在地：Kilometro 6 1/2, Autopista Duarte, Jardines de Norte, Santo Domingo

電話：547-3888

商務省 (Secretaria de Estado de Industria y Comercio)

所在地：Ave. Mexico, Edif. Huacal, Piso 7, Santo Domingo

電話：685-5171

観光省 (Secretaria de Estado de Turismo)

所在地：Oficinas Gubernamentales, Santo Domingo

電話：689-3655、221-4660

18. 在外日本関係機関など

在ドミニカ共和国日本国大使館

所在地：Torre BHD 8 Piso, Ave. Winston Churchill, Esq. Luis F. Thomen Santo Domingo

Santo Domingo (Plaza Central向かい)

電話：566-8023、567-3365～7

FAX：566-8013

勤務時間：9：00～13：00・15：00～17：30（水曜日午後・土日休）

JICAドミニカ共和国事務所

所在地：Ave. Bolivar No.818, Santo Domingo

電話：682-4703

FAX：688-2425

勤務時間：9：00～13：00・15：00～17：30（土日休）

19. 地方都市

サマナ市はサマナ県の県庁所在地で、当国の北東端サマナ半島内に位置する。首都から約250Kmの距離である。ここでは1996年8月より零細漁業振興のためのミニプロジェクトが進行中である。サマナ湾に面し、観光開発も進められている風光明媚な地であり、物資やサービスは一通りあるものの、住環境は若干厳しい。JICAでは「2級へき地」として認定公示されている。

任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は政府間技術協力のために開発途上国へ赴任する専門家などのJICA関係者が任国への入国および滞在するために必要とされる情報、特に生活情報を提供するものです。

専門家などのJICA関係者は、技術協力協定などの国際約束に基づいて派遣されておりますので赴任国で課せられる税金が免除されることがあります。任国情報はこうした関係者を対象として作成されておりますので、あらかじめご了解願います。

.....アジア地域.....

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア (ジャカルタ、バンドン、ウジェンバンダン)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム
19. モンゴル

.....中近東地域.....

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタル
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. テュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブダビ、アルイン)
16. イエメン (サナア)

.....太平洋地域.....

1. フィジー
2. キリバス
3. ミクロネシア
4. パラオ
5. パプア・ニューギニア
6. ソロモン諸島
7. ヴァヌアツ
8. 西サモア
9. トンガ
10. マーシャル諸島

.....欧州地域.....

1. カザフスタン
2. キルギス
3. ポーランド
4. タジキスタン
5. トルクメニスタン
6. ウズベキスタン
7. ハンガリー
8. ブルガリア
9. チェッコ
10. ルーマニア

.....アフリカ地域.....

1. ベナン
2. プルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. ギニア・ビサオ
11. 象牙海岸共和国
12. ケニア
13. リベリア
14. マダガスカル (アンタナナリボ、アンチラナナ)
15. マラウイ
16. モーリシャス
17. モザンビーク
18. ニジェール
19. ナイジェリア
20. ルワンダ
21. サントメ・プリンシペ
22. セネガル
23. セイシェル
24. ソマリア
25. タンザニア
26. トーゴ
27. ザイール
28. ザンビア
29. ジンバブエ
30. スワジランド
31. ボツワナ
32. エリトリア
33. 南アフリカ
34. ジブティ
35. ウガンダ
36. ブルキナ・ファソ

.....中南米地域.....

1. アルゼンティン
2. ボリヴィア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオ・デ・ジャネイロ、ポルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグァイ (アスンシオン、エンカルナシオン)
15. ペルー
16. セント・ルシア
17. トリニダッド・トバゴ
18. ウルグァイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグァ
21. ジャマイカ
22. エル・サルヴァドル

「任国情報（ドミニカ共和国）1999年度版」

平成12年4月30日発行

編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10番5号

電話 (03)3269-2357
